注３ **大学番号：０８０**

事前伺い

［平成２９年度設置］
計画の区分：学部の学科の設置
注１

鹿児島大学　法文学部　法経社会学科
人文学科
注２

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人鹿児島大学
平成２９年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名
担当部局（課）名　法文学部総務係
職名・氏名　総務係長 黒岩（クロイワ）　芳純（ヨシズミ）
電話番号　０９９－２８５－７５１７
（夜間）　０９９－２８５－７５１７
ＦＡＸ　０９９－２８５－７６０９
ｅ－mail　hsoumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　大学番号の欄については，平成２９年３月３１日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

法文学部

＜法経社会学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２
６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

＜人文学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５２
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５３
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５８
６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６９
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７０

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人鹿児島大学

（２）大　学　名

鹿児島大学

（３）大学の位置

〒８９０－８５８０
鹿児島県鹿児島市郡元一丁目２１番２４号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
学　　長	（マエダ　ヨシザネ） 前田　芳實 （平成25年４月１日）		
学 部 長	（タカツ　タカシ） 高津　孝 （平成28年４月１日）		
学科長等	（キタザキ　コウジ） 北﨑　浩嗣 （平成29年４月１日）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２７年度に報告済の内容　→（27）
平成２９年度に報告する内容　→（29）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２６年度開設の４年制の学科の場合（平成２９年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
法文学部 法経社会学科 学士（法学） 学士（学術） 学士（経済学）	・法学関係 ・経済学関係 社会学・社会福祉学関係 ・経済学関係	年 4	人 245	年次 人 （3年次 10）	人 980	編入学定員は学部全体の数

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	人 245 （ － ） [－]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	1.05倍	
志願者数	730 (－) [6]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
受験者数	542 (－) [6]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
合格者数	280 (－) [2]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
B　入学者数	258 (－) [2]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
入学定員超過率 B／A	1.05									

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　[　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	258 [　2]	[　　]	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	
２年次			[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	
３年次					[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	
４年次							[　　] （　）	[　　] （　）	
計	258 [　2　] （　－　）		[　　] （　　）		[　　] （　　）		[　　] （　　）		

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成29年度入学者	258 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成31年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成32年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合　計	258 人	0 人					0.00 %

（注）・ 数字は，平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜法文学部　法経社会学科＞

（１）授業科目表

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通教育科目	初年次教育科目		初年次セミナーⅠ	1前	2								兼 1	
			初年次セミナーⅡ	1後	2								兼 1	
			大学と地域	1前･後	2								兼 10	
			体育・健康科学理論	1後	1								兼 2	
			体育・健康科学実習	1前	1								兼 1	
			情報活用	1前	2								兼 1	
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ教育科目		英語ⅠA・英語ⅠB	1前	2								兼 1	
			英語ⅡA・英語ⅡB	2後	2								兼 1	
			異文化理解入門	1前	2								兼 1	
	日本語・日本事情科目		日本語Ⅰ	1前		1							兼 1	外国人留学生のみ
			日本語Ⅱ	1後		1							兼 1	外国人留学生のみ
			日本語Ⅲ	1後		1							兼 1	外国人留学生のみ
			日本語Ⅳ	1後		1							兼 1	外国人留学生のみ
			日本事情A	1前		2							兼 1	外国人留学生のみ
			日本事情B	1後		2							兼 1	外国人留学生のみ
			日本事情C	2前		2							兼 1	外国人留学生のみ
			小計（16科目）	－	16	10	0	0	0	0	0	0	兼 26	－
共通教育科目（教養教育科目）	初修外国語（人文・社会科学分野）		初級独語Ⅰ	1前		2							兼 1	
			初級仏語Ⅰ	1前		2							兼 1	
			初級中国語Ⅰ	1前		2							兼 1	
			初級韓国語Ⅰ	1前		2							兼 1	
			初級独語Ⅱ	1後		2							兼 1	
			初級仏語Ⅱ	1後		2							兼 1	
			初級中国語Ⅱ	1後		2							兼 1	
			初級韓国語Ⅱ	1後		2							兼 1	
			小計（8科目）	－	0	16	0	0	0	0	0	0	兼 8	－
	教養基礎科目	選択科目（人文・社会科学分野）	アラビア入門１	1前		1							兼 1	
			「生き方」としての宗教論	1前		2			1					
			稲盛和夫の経営哲学	1前		2							兼 1	
			映画論	1前		2							兼 1	
			関わりあいの心理学	1前		2							兼 1	
			鹿児島から考える多文化共生	1前		2							兼 1	
			鹿児島探訪－歴史－	1前		2							兼 1	
			鹿児島の歴史地理	1前		2			1					
			合唱Ⅰ	1前		1							兼 1	
			合奏演習Ⅰ	1前		1							兼 1	
			ｷｬﾘｱ・恋人・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの社会学	1前		2		1						
			グローバル人材育成（雲南）	1前		2							兼 1	
			言語と文化	1前		2		1						
			現代企業経営論	1前		2		1						
			現代の日本政治	1前		2							兼 1	
			行動科学	1前		2			1					
			国際経済学入門	1前		2			1					
			国際私法入門	1前		2			1					
			古代東アジアの王陵	1前		2							兼 1	
			司法制度論	1前		2			1					
			障害児教育入門	1前		2							兼 1	
			心理学概論	1前		2							兼 1	
			森林経済学Ⅰ	1前		2							兼 1	
			西洋史入門	1前		2		1						
			世界の中のイスラーム	1前		2							兼 1	
			大学の日本史	1前		2		1						
			地方自治体の課題と政策	1前		2			1					
			著作権とﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ	1前		2							兼 1	
			地理学	1前		2							兼 1	
			唐代の文学	1前		2		1						
			日本国憲法	1前		2							兼 3	
			入門：起業のための人材育成Ⅱ	1前		2							兼 1	
			人間と環境の心理学	1前		2							兼 1	
			How Language and Music Influences Society	1前		2							兼 1	
			発達臨床心理学	1前		2							兼 1	
			犯罪心理学	1前		2							兼 1	
			東アジア社会史	1前		2		1						
			美術への誘い	1前		2							兼 1	
			万葉集－古代人の心とことば－	1前		2							兼 1	
			ライフスキルの心理学	1前		2							兼 1	
			倫理学入門	1後		2		1						

			アイデア・発明から特許へ	1後		2							兼 1	
			医学・行動心理学入門	1後		2							兼 1	
			稲盛和夫のベンチャー企業論	1後		2							兼 1	
			ウォッチング現代政治	1後		2							兼 1	
			関わり合いの心理学入門	1後		2							兼 1	
			鹿児島から考える多文化共生	1後		2							兼 1	
			鹿児島探訪－歴史－	1後		2							兼 1	
			合唱Ⅱ	1後		1							兼 1	
			合奏演習Ⅱ	1後		1							兼 1	
			環境文学入門	1後		2							兼 1	
			韓国語入門Ⅰ	1後		1							兼 1	
			狂言の世界	1後		2							兼 1	
			暮らしから試みるニュース	1後		2							兼 1	
			経済原論	1後		4							兼 1	
			現代社会と環境教育	1後		2							兼 1	
			現代社会を考える	1後		2							兼 1	
			行動科学	1後		2			1					
			コーポレートファイナンス	1後		2							兼 1	
			自然体験活動入門講座	1後		2							兼 1	
			実験医学・行動心理学	1後		2							兼 1	
			社会学の世界	1後		2							兼 1	
			障害児教育入門	1後		2							兼 1	
			初級フィリピノ語講座	1後		2							兼 1	
			16・17世紀イギリ演劇への招待	1後		2							兼 1	
			水産経済学	1後		2							兼 1	
			税と法律	1後		2							兼 1	
			戦後日本外交史	1後		2							兼 1	
			地域ブランドを学ぶ	1後		2							兼 1	
			中国語入門Ⅰ	1後		1							兼 1	
			中国と東アジアの世界	1後		2							兼 1	
			哲学入門	1後		2							兼 1	
			独語入門Ⅰ	1後		1							兼 1	
			日本国憲法	1後		2							兼 1	
			日本史を読む	1後		2							兼 1	
			日本史学	1後		2							兼 1	
			日本の焼き物	1後		2							兼 1	
			入門：起業のための人材育成Ⅰ	1後		2							兼 1	
			農業経済学	1後		2							兼 1	
			平和学－広島・長崎講座－	1後		2							兼 1	
			仏語入門Ⅰ	1後		1							兼 1	
			ブラジルの社会と文化	1後		2							兼 1	
			陽明学入門	1後		2							兼 1	
			小計（94科目）	―	0	159 ~~191~~	0	8	8	0	0	0	69 兼 ~~26~~	集計の誤り(29) ―
		選択科目（自然科学分野）	遺伝のしくみ	1前		2							兼 1	
			宇宙科学	1前		2							兼 1	
			科学ジャーナリズム	1前		2							兼 1	
			技術概論	1前		2							兼 1	
			技術と文化	1前		2							兼 1	
			教養微分積分学	1前		2							兼 1	
			暮らしの中のバイオ	1前		2							兼 1	
			現代物理学入門	1前		2							兼 1	
			娯楽数学	1前		2							兼 1	
			行動生態学	1前		2							兼 1	
			資源生産管理学	1前		2							兼 1	
			地震と火山	1前		2							兼 1	
			焼酎	1前		2							兼 1	
			神経行動学	1前		2							兼 1	
			水産海洋学	1前		2							兼 1	
			水産生物学	1前		2							兼 1	
			数理科学入門	1前		2							兼 1	
			スポーツ実習（卓球）	1前		2							兼 1	
			スポーツ実習（ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ）	1前		2							兼 1	
			生物とリズム	1前		2							兼 1	
			生命と物理	1前		2							兼 1	
			相対論を学ぶ	1前		2							兼 1	
			データ解析への入門	1前		2							兼 1	
			動物の生態と社会	1前		2							兼 1	
			動物の病気	1前		2							兼 1	

			入門物理Ⅰ	1前		2							兼 1	
			乗り物の物理学	1前		2							兼 1	
			Fisheries and Fisheries Sciences	1前		2							兼 1	
			分子生物学入門	1前		2							兼 1	
			身近な話題の生物学	1前		2							兼 1	
			無機化学入門	1前		2							兼 1	
			ものづくり入門	1前		2							兼 1	
			遊びと科学	1後		2							兼 1	
			新しい物質観	1後		2							兼 1	
			医学・脳科学入門	1後		2							兼 1	
			医学生物学	1後		2							兼 1	
			依頼・介入関係の基礎理念	1後		2							兼 1	
			宇宙の利用	1後		2							兼 1	
			科学技術論	1後		2							兼 1	
			基礎溶液化学	1後		2							兼 1	
			教養線形代数学	1後		2							兼 1	
			健康管理	1後		2							兼 1	
			細胞生物学入門	1後		2							兼 1	
			実験医学・脳科学	1後		2							兼 1	
			焼酎	1後		2							兼 1	
			情報数学Ⅰ	1後		2							兼 1	
			食品・化粧品・医薬品の有機化学	1後		2							兼 1	
			植物学入門	1後		2							兼 1	
			植物生態学	1後		2							兼 1	
			初心者のためのｻﾊﾞｲﾊﾞﾙ生物学	1後		2							兼 1	
			森林科学	1後		2							兼 1	
			水圏環境保全科学	1後		2							兼 1	
			水産食品科学	1後		2							兼 1	
			水産増養殖学	1後		2							兼 1	
			スポーツサイエンス	1後		2							兼 1	
			スポーツ実習（バドミントン）	1後		1							兼 1	
			生化学実験Ⅰ	1後		2							兼 1	
			生命と炭素化合物	1後		2							兼 1	
			生命科学	1後		2							兼 1	
			生命科学情報活用Ⅰ	1後		2							兼 1	
			地球と環境	1後		2							兼 1	
			ＤＮＡの科学	1後		2							兼 1	
			電気電子工学入門	1後		2							兼 1	
			身近な科学	1後		2							兼 1	
			小計（64科目）	―	0	127	0	0	0	0	0	0	兼 64	―
	教養活用科目	統合Ⅰ（課題発見）	いのちと地域を守る防災学Ⅰ	1前	2								兼 1	
			かごしま教養プログラム	1前	2								兼 1	
			環境ビジネスⅠ	1前	2			1						
			キャリアデザイン	1前	2								兼 1	
			ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｲﾆｼｱﾃｨﾌﾞ概論	1前	2								兼 1	
			グローバル社会を生きる	1前	2								兼 1	
			自然学校へ移行　実践論Ⅰ	1前	2								兼 1	
			実用英語短期講座　’１６	1前	2								兼 1	
			社会人としての救急措置入門	1前	2								兼 1	
			人生における出会いの意義と役割	1前	2								兼 1	
			生命化学への招待	1前	2								兼 1	
			大学生のための社会人基礎力入門	1前	2								兼 1	
			大学で学ぶ	1前	2								兼 1	
			地球環境保全のための国際協力	1前	2								兼 1	
			博物館へのいざない	1前	2								兼 1	
			防災フィールドワーク	1前	2								兼 1	
			鹿児島の地域に学ぶ	1後	2								兼 1	
			鹿児島大学に学ぶ	1前	2								兼 1	
			キャリアデザイン	1後	2								兼 1	
			ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｲﾆｼｱﾃｨﾌﾞ概論	1後	2								兼 1	
			現代社会と大学	1後	2								兼 1	
			自然学校へ移行　実践論Ⅱ	1後	2								兼 1	
			手話入門	1後	2								兼 1	
			消費者教育	1後	2								兼 1	
			女性学入門	1後	2								兼 1	
			進取の精神：その現在・過去・未来	1後	2								兼 1	
			人生における出会いの意義と役割	1後	2								兼 1	
			全人的歯科医療実践学	1後	2								兼 1	
			大学生のための社会人基礎力入門	1後	2								兼 1	

			男女共同参画とキャリアデザイン	1後	2								兼 1	
			小計（30科目）	―	60	0	0	1	0	0	0	0	兼 29	―
		統合Ⅱ（課題解決）	奄美の民俗文化	1前	2								兼 1	
			イスラームの多様性に学ぶ	1前	2								兼 1	
			稲盛和夫のリーダー論	1前	2								兼 1	
			かごしまフィールドスクール	1前	2								兼 1	
			鹿児島探訪－環境－	1前	2								兼 1	
			鹿児島探訪－文化－	1前	2			1						
			環境と進化の科学	1前	2								兼 1	
			がんはなぜおこるのか	1前	2								兼 1	
			口と顔の科学	1前	2								兼 1	
			国際異文化交流Ⅰ	1前	2								兼 1	
			国際関係論	1前	2								兼 1	
			国際協力体験講座－タイコース－	1前	2								兼 1	
			国際協力体験講座－ﾐｬﾝﾏｰｺｰｽｰ	1前	2								兼 1	
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前	2								兼 1	
			自然学校インターンシップⅠ	1前	2								兼 1	
			自然学校へ行こう！	1前	2								兼 1	
			実践キャリアデザイン	1前	2								兼 1	
			シラス地域学	1前	2								兼 1	
			滞在者のためのコミュニケーションスキル：中国編	1前	2								兼 1	
			短期派遣留学Ⅰ	1前	1								兼 1	
			短期派遣留学Ⅱ	1前	1								兼 1	
			地域環境論	1前	2								兼 1	
			地域防災学実践Ⅰ	1前	2								兼 1	
			南米における進取の気風研修計画	1前	2								兼 1	
			ピアカウンセリング入門	1前	2								兼 1	
			東アジア社会の共通課題は何か？	1前	2								兼 1	
			ヒトの身体の仕組みと働き	1前	2								兼 1	
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅰ	1前	2								兼 1	
			北米におけるグローバル人材育成	1前	2								兼 1	
			南太平洋多島域	1前	2								兼 1	
			屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1前	2								兼 1	
			屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前	2								兼 1	
			有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	1前	2								兼 1	
			有機農業Ⅲ 田んぼでアウトドア	1前	2								兼 1	
			留学生のための異文化理解	1前	2								兼 1	
			奄美の民俗文化	1後	2								兼 1	
			いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後	2								兼 1	
			英語によるグローバル人材育成	1後	2								兼 1	
			海外研修基礎ｺｰｽinｶﾘﾌｫﾙﾆｱ	1後	2								兼 1	
			海外研修基礎ｺｰｽin東南アジア	1後	2								兼 1	
			海外研修基礎ｺｰｽinハワイ	1後	2								兼 1	
			鹿児島探訪－環境－	1後	2								兼 1	
			鹿児島探訪－循環型社会と世界遺産－	1後	2								兼 1	
			鹿児島探訪－地域産業－	1後	2								兼 1	
			鹿児島の四季　キャンパス俳句会	1後	2								兼 1	
			環境ビジネス２	1後	2								兼 1	
			九州の古墳文化	1後	2								兼 1	
			共生のためのフェア・トレード	1後	2								兼 1	
			共生のためのフェア・トレードⅡ	1後	2								兼 1	
			口と顔の科学	1後	2								兼 1	
			健康を創り，守る	1後	2								兼 1	
			国際異文化交流Ⅱ	1後	2								兼 1	
			国際感覚を持つバイテク人材育成	1後	2								兼 1	
			国際協力論	1後	2								兼 1	
			自己理解・他者理解と障害理解	1後	2								兼 1	
			自然学校インターンシップⅡ	1後	2								兼 1	
			自然環境保全と世界遺産	1後	2								兼 1	
			島のしくみ	1後	2								兼 1	
			短期派遣留学Ⅰ	1後	1								兼 1	
			短期派遣留学Ⅱ	1後	1								兼 1	
			地域就業キャリアデザイン	1後	2								兼 1	
			地域防災学実践Ⅱ	1後	2								兼 1	
			ピアカウンセリング入門	1後	2								兼 1	
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅱ	1後	2								兼 1	
			放射線の世界	1後	2								兼 1	
			森・ひと・体験	1後	2								兼 1	

			屋久島の環境文化Ⅱ－生き物－	1後	2								兼 1	
			屋久島の環境文化Ⅳ－生活と文化－	1後	2								兼 1	
			有機農業Ⅱ　有機農業入門	1後	2								兼 1	
			留学生のための異文化理解	1後	2								兼 1	
			小計（70科目）	－	136	0	0	1	0	0	0	0	兼 69	－
専門教育科目	基礎	法文スタンダード科目	人文社会総合論	1前	2			8	7					オムニバス
			小計（1科目）	－	2	0	0	8	7	0	0	0		－
		学科共通科目	社会科学基礎演習	1前	2			8	7	1				
			社会科学基礎	1後	2			8	7					オムニバス
			法学の基礎	1前		2		1	1					オムニバス
			司法制度論	1前		2			1					
			憲法人権Ⅰ	1前		2			1					
			社会学概論	1前		2		1						
			都市社会学	1前		2							兼 1	
			家族社会学	1後		2		1						
			社会教育概論	1後		2			1	~~1~~				授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
			地域社会を学ぶ	1後		2		5	3	2				オムニバス
			企業論	1前		2		~~1~~	1					授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
			企業会計論	1後		2		1						
			ミクロ経済学Ⅰ	1前		2		1						
			ミクロ経済学Ⅱ	1後		2		1						
			マクロ経済学Ⅰ	1前		2		1						
			マクロ経済学Ⅱ	1後		2		1						
			統計作成論	1前		2		1						
			統計利用論	1後		2		1						
			経済学概論	1前		2			1					
			経済原論	1後		2		1						
			経済史入門	1前		2			1					
			哲学概論	1前		2								
			倫理学概説	1後		2								
			小計（23科目）	－	4	42	0	29 ~~30~~	19 ~~17~~	2	0	0	兼 1	－
	活用	法学コース科目	憲法人権Ⅱ	1後		2			1					
			憲法統治	2前		2			1					
			行政法総論Ⅰ	2前		2		1						
			行政法総論Ⅱ	2後		2		1						
			国家補償法	3前		2		1						
			行政争訟法	3前		2		1						
			地方自治法	3後		2		1						
			公共法務論	3後		2		1						
			行政学	2後		2		~~1~~					~~兼 1~~	授業内容の充実のため専任教員へ変更(29)
			自治体政策論	2後		2			1					
			政治学	2前		2		1						
			政治史	2後		2		1						
			刑法総論Ⅰ	2前		2			1					
			刑法総論Ⅱ	2後		2			1					
			刑法各論Ⅰ	2後		2			1					
			刑法各論Ⅱ	3前		2			1					
			刑事訴訟法Ⅰ	2後		2		1						
			刑事訴訟法Ⅱ	3前		2		1						
			刑事政策	2前		2							兼 1	
			民法総則	1後		2			1					
			物権法Ⅰ	2前		2		1						
			物権法Ⅱ	2後		2		1						
			債権法Ⅰ	2前		2							兼 1	
			債権法Ⅱ	2後		2		1						
			債権法Ⅲ	3前		2							兼 1	
			家族法	2前		2			1					
			環境法	2後		2		1						
			社会保障法	2後		2		1						
			労働法	3前		2							兼 1	
			会社法Ⅰ	2後		2		1						
			会社法Ⅱ	3前		2		1						
			商取引法Ⅰ	3前		2		1						

			商取引法Ⅱ	3後		2		1						
			有価証券法	3後		2		1						
			企業法務論	3後		2		1						
			民事訴訟法Ⅰ	2後		2		1						
			民事訴訟法Ⅱ	3前		2		1						
			民事執行・保全法	3前		2		1						
			倒産法	3後		2		1						
			租税法	3前		2		1						
			国際私法	2前		2			1					
			国際取引法	2後		2			1					
			国際法	2後		2			1					
			国際関係論	2前		2		1						
			英米法	2前		2		1						
			外国法特論	2前		2								
			外国書講読	2前		2		1	2					
			法哲学	3後		2							兼 1	
			法史学	2前		2							兼 1	
			法社会学	2後		2		1						
			司法政策論	3後		2		1						
			法政特殊講義	2前		2			2					
			小計（52科目）	―	0	104	0	13	5	0	0	0	兼 ~~7~~ 6	―
		地域社会コース科目	経営戦略論	2前		2		1						
			経営管理論	2後		2			1					
			社会的コミュニケーション論	2後		2		1						
			生涯教育概論	2後		4			~~1~~ 2	~~1~~				
			比較地域文化論	2前		2		1						
			芸術文化デザイン論	2前		2		1						
			経営財務論	2前		2			1					
			経営組織論	2後		2		1						
			管理会計論	2後		2		1						
			商業簿記	2前		2			1					
			工業簿記・原価計算論	2前		2		1						
			経済政策論Ⅰ	2前		2			1					
			財政政策論Ⅰ	2前		2		1						
			農業政策論	2後		2		1						
			社会調査	2後		2		1						
			福祉と地域の社会学	2前		2		1						
			現代社会と地域社会	2後		2		1						
			自治体政策論	2後		2			1					
			行政学	2後		2		1					兼 ~~1~~	授業内容の充実のため専任教員へ変更(29)
			持続可能な地域づくりと教育	2後		2			1					
			子ども・若者の社会参画論	2前		2			1					
			社会教育計画論Ⅰ	2前		2							兼 1	
			ファシリテーションの基礎	2前		2							兼 1	
			地域づくりとNPO	2後		2				1				
			意思決定論	3後		2			1					
			財務会計論	3前		2			1					
			経営情報論	3前		2		1						
			地場産業企業論	3前		2			1					
			コミュニティ論	3前		2							兼 1	
			地方自治法	3後		2		1						
			公共法務論	3後		2		1						
			環境教育論	3前		2			1					
			環境法	3後		2		1						
			環境経営論	3後		2		1						
			環境経済学	3後		2			1					
			地域計画論	3後		2		1						
			六次産業化論	3後		2		1						
			経済地理学	3後		2		1						
			比較地域社会論	3後		2		1						
			アートマネジメント論	3後		2		1						
									3	1				授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
			社会教育と地域創造の関わりを学ぶ	2前		2			~~2~~	~~2~~				オムニバス
			成人教育論	3前		2			1	~~1~~				授業内容の充実のため担当教員を変更(29)

			青年の主体形成論	3前		2			1					
			スポーツ施設論	3後		2							兼 1	
			図書館論	3後		2							兼 1	
			社会問題と社会意識	3前		2		1						
			地域社会特殊講義	3前		2		1						
			歴史のなかの社会学	3後		2		1						
			人権教育と平和	3後		2			1	~~1~~				授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
			まちづくりを考える	3前		2		5						オムニバス
			地域計量分析	3後		2		1						
			多文化共生の地域づくり	3前		2				1				
			社会教育計画論Ⅱ	2後		2							兼 1	
			社会教育実践論	3後		2			1	~~1~~				授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
								5						授業内容の充実のため担当教員を追加(29)
			外国書研究	3前		2		~~1~~						
			小計（55科目）	―	0	112	0	6 ~~5~~	5 ~~4~~	1	0	0	6 兼 ~~7~~	―
		経済コース科目	市民社会思想史Ⅰ	2前		2		1						
			市民社会思想史Ⅱ	2後		2		1						
			経済学と数学	2前		2		1						
			数理統計学	2後		2		1						
			日本経済史	2後		2			1					
			金融論	2前		2							兼 1	
			金融システム論	2後		2							兼 1	
			経済政策論Ⅰ	2前		2			1					
			経済政策論Ⅱ	2後		2			1					
			財政政策論Ⅰ	2前		2		1						
			財政政策論Ⅱ	2後		2		1						
			地域計画論	2前		2		1						
			国際経済学Ⅰ	2前		2			1					
			国際経済学Ⅱ	2後		2			1					
			国際貿易投資論Ⅰ	2前		2		1						
			国際貿易投資論Ⅱ	2後		2		1						
			東南アジア経済論	2前		2		1						
			公共経済学	2前		2			1					
			経済地理学	2後		2		1						
			商業簿記	2前		2			1					
			経営戦略論	2前		2		1						
			経営管理論	2後		2			1					
			経営財務論	2前		2			1					
			国際経営論	2後		2			1					
			経営組織論	2後		2		1	~~1~~					授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
			工業簿記・原価計算論	2前		2		1						
			管理会計論	2後		2		1						
			経営情報論	2前		2		1						
			システム設計	2前		2			1					
			技術経営論	2後		2			1					
			情報ネットワーク論	2後		2			1					
			情報マネジメント	2前		2			~~1~~	1				授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
			商学総論	2後		2				1				
			職業指導	2後		2							兼 1	
			特殊講義	2前		2		1						
			国民経済計算	3前		2		1						
			社会と経済の統計	3後		2		1						
			日本経済論	3前		2			1					
			ファイナンス	3前		2							兼 1	
			金融政策論	3後		2							兼 1	
			農業政策論	3後		2		1						
			六次産業化論	3後		2		1						
			国際金融論	3前		2		1						
			アジア農村経済論	3後		2		1						
			環境経済学	3後		2			1					
			地域計量分析	3後		2		1						
			地方財政論	3前		2		1						
			行動経済学	3前		2			1					
			意思決定論	3後		2			1					

		環境経営論	3後		2		1						
		地場産業企業論	3前		2			1					
		財務会計論	3前		2			1					
		経営分析	3後		2			1					
		データベース論	3前		2		1						
		システム監査論	3前		2		1						
		システム監査実習	3後		1		1						
		ベンチャー企業論	3前		2				1				
		マーケティング論	3後		2				1				
		外国書研究	3前		2		5	~~1~~					授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		小計（59科目）	―	0	117	0	12	8	1	0	0	兼 5	―
実践	法学コース科目	演習Ⅰ	3前	2			13	5					
		演習Ⅱ	3後	2			13	5					
		実践演習	2前		2		6	1					
		キャリア形成演習	2前		2		5						
		キャリア体験実習	3前		1		1	1					
		小計（5科目）	―	4	5	0	13	5	0	0	0		―
	地域社会コース科目	演習	2前・後	2			5	4	1				
		特殊研究	4後	6			5	4	1				
		社会教育演習Ⅰ	2前		2			1					
		社会教育演習Ⅱ	2後		2			1					
		地域社会実習	3後		1		~~1~~	1					授業内容の充実のため 担当教員を変更(29)
		社会教育実習Ⅰ	3後		1			1					
		社会教育実習Ⅱ	3後		1			~~1~~	1				授業内容の充実のため 担当教員を変更(29)
		社会教育実習Ⅲ	3後		1			1	~~1~~				授業内容の充実のため 担当教員を変更(29)
		社会教育実習Ⅳ	3後		1			1	~~1~~				授業内容の充実のため 担当教員を変更(29)
		エンドユーザ実習Ⅰ	1前	1			1	1	1			兼 1	授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		エンドユーザ実習Ⅱ	1後	1			~~1~~	1	1			兼 1	授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		エンドユーザ実習Ⅲ	1後	1			~~1~~	3	1				授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		実用英語	2前		2		1						
		観光英語	3後		2							兼 1	
		小計（14科目）	―	11	13	0	5	4	1	0	0	兼 2	―
	経済コース科目	演習	2前・後	2			11	8	1				
		特殊研究	4後	6			11	8	1				
		エンドユーザー実習Ⅰ	1前	1			1	1	1			兼 1	授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		エンドユーザー実習Ⅱ	1後	1			~~1~~	1	1			兼 1	授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		エンドユーザー実習Ⅲ	1後	1			~~1~~	3	1				授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		エンドユーザー実習Ⅳ	2前		1		1	1					授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		エンドユーザー実習Ⅴ	2後		1		1	1					授業内容の充実のため 担当教員を追加(29)
		システム構築実習	2後		1		~~1~~	1					授業内容の充実のため 担当教員を変更(29)
		実用英語	2前		2		1						
		ビジネス英語	3後		2			1					
		アクティブ・プログラム	2後		2		1						
		小計（11科目）	―	11	9	0	12	8	1	0	0	兼 1	―
法文アドバンスト科目Ⅰ		現代社会を探る	1前		2							兼 1	
		地域科学特殊講義	2前		2		5	4				兼 6	オムニバス
		観光学	3前		2							兼 1	
		島嶼ツーリズム論	4前		2							兼 1	
		マスコミ論	2後		2							兼 1	
		アジアの法と社会	4前		2							兼 1	
		キャリア論	2後		2							兼 1	
		アクティブ・ゼミ	4前・後		2		1	~~1~~	1				授業内容の充実のため 担当教員を変更(29)

		地域科学演習	3後		2		1	~~1~~					
		マスコミ論演習	3前		2			1					
		自治体政策総合講義	2後		2		~~1~~	~~1~~					授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
		まちづくり論	2後		2		1						
		地域心理支援論	2後		2				1				オムニバス
		行政企業体験実習	3前・後		1		1						
		海外異文化体験実習	3前		1		~~1~~	1					授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
		小計（15科目）	―	0	28	0	10	8	1	0	0	兼 12	―
	法文アドバンスト科目Ⅱ	自然科学から見る人・文化・社会	2前		2							兼 1	
		水産学概論	3前		2							兼 1	
		日本水産業概論	3前		2							兼 1	
		水圏環境保全科学	2後		2							兼 1	
		科学ジャーナリズム	4前		2							兼 1	
		生命共生論	3後		2							兼 1	
		畜産科学概論	2後		2							兼 1	
		応用植物科学概論	2後		2							兼 1	
		食料生命科学序論	3前		2							兼 1	
		比較酒文化論	4前		2							兼 1	
		小計（10科目）	―	0	20	0	0	0	0	0	0	兼 10	―

（注）・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
・ 設置時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・ 兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月　提出予定」と記入してください。）
・「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
科目 5	科目 101	科目 0	科目 106	科目 5 [０]	科目 101 [０]	科目 0 [０]	科目 106 [０]	法経社会学科法学コース
科目 8	科目 110	科目 0	科目 118	科目 8 [０]	科目 110 [０]	科目 0 [０]	科目 118 [０]	法経社会学科地域社会コース
科目 8	科目 111	科目 0	科目 119	科目 8 [０]	科目 111 [０]	科目 0 [０]	科目 119 [０]	法経社会学科経済コース

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{343} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	525,967㎡	0㎡	0㎡	525,967㎡	
	運動場用地	106,929㎡	0㎡	0㎡	106,929㎡	
	小計	632,896㎡	0㎡	0㎡	632,896㎡	
	その他	35,960,681㎡	0㎡	0㎡	35,960,681㎡	
	合計	36,593,577㎡	0㎡	0㎡	36,593,577㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		241,689㎡ (241,689㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	241,689㎡ (241,689㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	145室	287室	1,662室	29室 (補助職員 0人)	5室 (補助職員 0人)	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	法文学部　人文学科	47室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	法文学部	1,288,239〔374,399〕 (1,288,239〔374,399〕)	36,422〔11,782〕 (36,422〔11,782〕)	6,242〔5,929〕 (6,242〔5,929〕)	8,439 (8,439)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)	大学全体
	計	1,288,239〔374,399〕 (1,288,239〔374,399〕)	36,422〔11,782〕 (36,422〔11,782〕)	6,242〔5,929〕 (6,242〔5,929〕)	8,439 (8,439)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	15,479㎡	1,142	1,205,000	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	4,655㎡	陸上競技場、球技場、野球場	武道場、室内プール、艇庫	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２９年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（29）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	鹿児島大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
≪ＡＣ対象学部等≫									
法文学部			3年次 10	20		－			編入学定員は学部全体の定員で外数。平成31年度より学生募集。
法経社会学科	4	245		245	学士 （法学・経済学・学術）	1.05	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
人文学科	4	165		165	学士 （文学）	1.02	平成29年度	同上	
法政策学科	4	－		－	学士 （法学）	－	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
経済情報学科	4	－		－	学士 （経済学）	－	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
人文学科	4	－		－	学士 （文学）	－	昭和54年度	同上	平成29年度学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	200	－	875	学士 （教育学）	1.03	平成9年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	平成29年度入学定員減(25人)
特別支援教育教員養成課程	4	15	－	60	学士 （教育学）	1.01	昭和49年度	同上	
生涯教育総合課程	4	－	－	－	学士 （教育学）	－	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
理学部									
数理情報科学科	4	40	－	160	学士 （理学）	1.03	平成9年度	鹿児島市郡元一丁目21番35号	
物理科学科	4	45	－	180	学士 （理学）	1.03	平成9年度	同上	
生命化学科	4	50	－	200	学士 （理学）	1.02	平成9年度	同上	
地球環境科学科	4	50	－	200	学士 （理学）	1.04	平成9年度	同上	
医学部									
医学科	6	107	2年次 10	692	学士 （医学）	1.00 (0.83)	昭和30年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	（編入学定員は内数。10月入学のみ。）
保健学科						1.00			
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 （看護学）	1.00 (0.45)	平成11年度	同上	（編入学定員は内数）
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 （保健学）	1.00 (0.50)	平成11年度	同上	同上
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 （保健学）	1.00 (0.30)	平成11年度	同上	同上
歯学部									
歯学科	6	53	－	318	学士 （歯学）	1.00	昭和52年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	

工学部			3年次 20	40		1.03			編入学定員は学部全体の定員で外数。
機械工学科	4	94		376	学士 （工学）	1.03	昭和30年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
電気電子工学科	4	78		312	学士 （工学）	1.06	平成4年度	同上	
建築学科	4	55		220	学士 （工学）	1.08	昭和30年度	同上	
環境化学プロセス工学科	4	35		140	学士 （工学）	1.07	平成21年度	同上	
海洋土木工学科	4	48		192	学士 （工学）	1.02	平成4年度	同上	
情報生体システム工学科	4	80		320	学士 （工学）	1.05	平成21年度	同上	
化学生命工学科	4	50		200	学士 （工学）	1.05	平成21年度	同上	
農学部									
農業生産科学科	4	75	－	150	学士 （農学）	1.07	平成28年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
食料生命科学科	4	70	－	140	学士 （農学）	1.03	平成28年度	同上	
農林環境科学科	4	60	－	120	学士 （農学）	1.00	平成28年度	同上	
生物生産学科	4	－	－	－	学士 （農学）	－	平成2年度	同上	平成28年度学生募集停止
生物資源化学科	4	－	－	－	学士 （農学）	－	平成2年度	同上	平成28年度学生募集停止
生物環境学科	4	－	－	－	学士 （農学）	－	平成2年度	同上	平成28年度学生募集停止
水産学部									
水産学科	4	140	－	550	学士 （水産学）	1.03	昭和50年度	鹿児島市下荒田四丁目50番20号	平成27年度入学定員増(10人)
水産教員養成課程	4	－	－	－	学士 （水産学）	－	昭和29年度	同上	平成27年度学生募集停止
共同獣医学部									
獣医学科	6	30	－	180	学士 （獣医学）	1.05	平成24年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	

大学の名称	鹿児島大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
〔修士（博士前期）〕									
人文社会科学研究科									
法学専攻	2	5	－	10	修士（法学）	0.60	平成10年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
経済社会システム専攻	2	10	－	20	修士（経済学・社会学）	0.70	平成10年度	同上	
人間環境文化論専攻	2	5	－	10	修士（文学）	1.40	平成10年度	同上	
国際総合文化論専攻	2	8	－	16	修士（文学）	0.68	平成10年度	同上	
教育学研究科									
教育実践総合専攻	2	22	－	60	修士（教育学）	0.80	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	平成29年度入学定員減(16人)
医歯学総合研究科									
医科学専攻	2	10	－	20	修士（医科学）	0.90	平成16年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
保健学研究科									
保健学専攻	2	22	－	44	修士（保健学・看護学）	1.04	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
理工学研究科									
機械工学専攻	2	50	－	100	修士（理学・工学・学術）	1.13	平成10年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
電気電子工学専攻	2	45	－	90	修士（理学・工学・学術）	0.93	平成21年度	同上	
建築学専攻	2	25	－	50	修士（理学・工学・学術）	1.18	平成21年度	同上	
化学生命・化学工学専攻	2	42	－	84	修士（理学・工学・学術）	1.14	平成21年度	同上	
海洋土木工学専攻	2	18	－	36	修士（理学・工学・学術）	0.83	平成21年度	同上	
情報生体システム工学専攻	2	42	－	84	修士（理学・工学・学術）	1.01	平成21年度	同上	
数理情報科学専攻	2	14	－	28	修士（理学・工学・学術）	0.71	平成21年度	同上	
物理・宇宙専攻	2	15	－	30	修士（理学・工学・学術）	1.03	平成21年度	同上	
生命化学専攻	2	18	－	36	修士（理学・工学・学術）	1.05	平成21年度	同上	
地球環境科学専攻	2	17	－	34	修士（理学・工学・学術）	0.70	平成21年度	同上	
農学研究科									
生物生産学専攻	2	26	－	52	修士（農学）	1.13	平成6年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
生物資源化学専攻	2	21	－	42	修士（農学）	1.21	平成6年度	同上	
生物環境学専攻	2	22	－	44	修士（農学）	0.70	平成6年度	同上	

水産学研究科									
水産学専攻	2	32	－	64	修士（水産学）	1.03	昭和54年度	鹿児島市下荒田四丁目50番20号	
〔博士後期〕									
人文社会科学研究科									
地域政策科学専攻	3	6	－	18	博士（学術）	0.72	平成15年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
医歯学総合研究科									
健康科学専攻	4	19	－	76	博士（医学・歯学・学術）	0.86	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
先進治療科学専攻	4	31	－	124	博士（医学・歯学・学術）	1.17	平成15年度	同上	
保健学研究科									
保健学専攻	3	6	－	18	博士（保健学）	0.77	平成17年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
理工学研究科									
総合理工学専攻	3	24	－	48	博士（理学・工学・学術）	0.76	平成28年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
物質生産科学専攻	3	－	－	－	博士（理学・工学・学術）	－	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
システム情報科学専攻	3	－	－	－	博士（理学・工学・学術）	－	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
生命環境科学専攻	3	－	－	－	博士（理学・工学・学術）	－	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
連合農学研究科									
生物生産科学専攻	3	7	－	21	博士（農学・水産学・学術）	1.56	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
応用生命科学専攻	3	8	－	24	博士（農学・水産学・学術）	0.75	平成21年度	同上	
農水圏資源環境科学専攻	3	8	－	24	博士（農学・水産学・学術）	1.95	平成21年度	同上	
〔専門職学位課程〕									
教育学研究科									
学校教育実践高度化専攻	2	16	－	16	教職修士（専門職）	0.75	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	
臨床心理学研究科									
臨床心理学専攻	2	15	－	30	臨床心理修士（専門職）	1.03	平成19年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜法文学部　法経社会学科＞

（１） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	木村　朗（６２）	平成29年４月	国際関係論 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	教授	平井　一臣（５９）	平成29年４月	政治学 政治史	兼担	理事	平井　一臣（５９）	平成29年４月	政治学 政治史	平成29年4月1日 鹿児島大学理事に就任したため (29)
専	教授	松田　忠大（４５）	平成29年４月	法学の基礎 商取引法Ⅰ 商取引法Ⅱ 外国書講読 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	教授	森尾　成之（４９）	平成29年４月	行政法総論Ⅰ 行政法総論Ⅱ 国家補償法 行政学 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	教授	宇那木 正寛（５４）	平成29年４月	行政争訟法 地方自治法 公共法務論 演習Ⅰ 演習Ⅱ まちづくり論						
専	教授	植本　幸子（４４）	平成29年４月	物権法Ⅰ 物権法Ⅱ 債権法Ⅱ 英米法 外国書講読 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	教授	鳥飼　貴司（５１）	平成29年４月	租税法 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	教授	伊藤　周平（５７）	平成29年４月	社会保障法 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	教授	志田　惣一（５６）	平成29年４月	会社法Ⅰ 会社法Ⅱ 有価証券法 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	教授	齋藤　善人（５５）	平成29年４月	民事執行・保全法 倒産法 演習Ⅰ 演習Ⅱ キャリア体験実習	専	教授	齋藤　善人（５５）	平成29年４月	民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ 民事執行・保全法 倒産法 演習Ⅰ 演習Ⅱ キャリア体験実習	平成29年3月 坂本正幸教授就任辞退のため 平成29年度より担当者の 変更(29)

専	教授	米田　健一 （５１）	平成29年４月	法社会学 外国書講読 演習Ⅰ 演習Ⅱ 実践演習 キャリア形成演習						
専	教授	中島　宏 （４９）	平成29年４月	刑事訴訟法Ⅰ 刑事訴訟法Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 実践演習 キャリア形成演習						
専	教授	坂本　正幸 （５１）	平成29年４月	民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ			後任未定			平成29年3月 坂本正幸教授就任辞退(29) 平成３０年４月採用人事予定 「民事訴訟法Ⅰ」「民事訴訟法Ⅱ」は他の教員が追加して担当するため支障はない
専	教授	前田　稔 （６５）	平成29年４月	演習Ⅰ 演習Ⅱ 実践演習 キャリア形成演習						
専	教授	中島　大輔 （５７）	平成29年４月	比較地域文化論 比較地域社会論 まちづくりを考える 外国書研究 演習 特殊研究						
専	教授	城戸　秀之 （５６）	平成29年４月	社会科学基礎演習 社会学概論 社会調査 現代社会と地域社会 地域社会特殊講義 歴史のなかの社会学 まちづくりを考える 演習 特殊研究						
専	教授	桑原　司 （４７）	平成29年４月	社会的コミュニケーション論 社会問題と社会意識 まちづくりを考える 外国書研究 演習 特殊研究						
専	教授	片桐 資津子 （４６）	平成29年４月	社会科学基礎演習 家族社会学 福祉と地域の社会学 まちづくりを考える 演習 特殊研究						
専	教授	井原 慶一郎 （４７）	平成29年４月	芸術文化デザイン論 アートマネジメント論 まちづくりを考える 演習 特殊研究 実用英語						
専	教授	橋本　直樹 （６４）	平成29年４月	社会科学基礎演習 経済原論 市民社会思想史Ⅰ 市民社会思想史Ⅱ 演習 特殊研究						

専	教授	金丸　哲 （６３）	平成29年４月	社会科学基礎演習 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 外国書研究 国民経済計算 演習 特殊研究						
専	教授	石塚　孔信 （５７）	平成29年４月	ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ 経済地理学 地域計量分析 経済学と数学 演習 特殊研究 地域科学特殊講義 地域科学演習						
専	教授	松川 太一郎 （５４）	平成29年４月	統計作成論 統計利用論 外国書研究 数理統計学 社会と経済の統計 演習 特殊研究						
専	教授	萩野　誠 （５８）	平成29年４月	経営情報論 データベース論 システム監査論 システム監査実習 エンドユーザ実習Ⅰ エンドユーザー実習Ⅳ 演習 特殊研究 エンドユーザー実習Ⅴ						
専	教授	大前　慶和 （４７）	平成29年４月	経営戦略論 経営組織論 環境経営論 演習 特殊研究 アクティブ・ゼミ						
専	教授	北村　浩一 （４５）	平成29年４月	企業会計論 管理会計論 工業簿記・原価計算論 演習 特殊研究						
専	教授	北崎　浩嗣 （５７）	平成29年４月	社会科学基礎演習 農業政策論 地域計画論 六次産業化論 演習 特殊研究						
専	教授	林田　吉恵 （５１）	平成29年４月	財政政策論Ⅰ 財政政策論Ⅱ 地方財政論 演習 特殊研究						
専	教授	西村　知 （５３）	平成29年４月	外国書研究 東南アジア経済論 アジア農村経済論 演習 特殊研究						

専	教授	山本　一哉 （５０）	平成29年４月	社会科学基礎演習 国際貿易投資論Ⅰ 国際貿易投資論Ⅱ 特殊講義 国際金融論 演習 特殊研究						
専	准教授	上原　大祐 （４０）	平成29年４月	司法制度論 刑法総論Ⅰ 刑法総論Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	准教授	大野　友也 （３９）	平成29年４月	憲法人権Ⅰ 憲法人権Ⅱ 憲法統治 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	准教授	阿部　純一 （３２）	平成29年４月	法学の基礎 民法総則 家族法 演習Ⅰ 演習Ⅱ						
専	准教授	眞砂　康司 （６１）	平成29年４月	国際私法 国際取引法 外国書講読 演習Ⅰ 演習Ⅱ キャリア体験実習						
専	准教授	南　由介 （４１）	平成29年４月	刑法各論Ⅰ 刑法各論Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 実践演習 キャリア形成演習						
専	准教授	本田　豊洋 （４６）	平成29年４月	自治体政策論 演習 特殊研究 地域社会実習						
専	准教授	金子　満 （４３）	平成29年４月	生涯教育概論 子ども・若者の社会参画論 社会教育と地域創造の関わりを学ぶ 青年の主体形成論 社会教育実践論 演習 特殊研究 社会教育演習Ⅱ 社会教育実習Ⅳ						
専	准教授	農中　至 （３４）	平成29年４月	社会教育概論 生涯教育概論 社会教育と地域創造の関わりを学ぶ 成人教育論 人権教育と平和 社会教育実践論 演習 特殊研究 社会教育演習Ⅰ 社会教育実習Ⅰ						

専	准教授	小 栗 有 子 （４４）	平成29年４月	持続可能な地域づくりと教育 環境教育論 社会教育と地域創造の関わりを学ぶ 演習 特殊研究 社会教育実習Ⅲ						
専	准教授	三 浦 壮 （３９）	平成29年４月	社会科学基礎演習 経済史入門 日本経済史 日本経済論 エンドユーザ実習Ⅲ 演習 特殊研究						
専	准教授	市 川 英 孝 （４１）	平成29年４月	システム設計 技術経営論 情報ネットワーク論 エンドユーザ実習Ⅰ エンドユーザ実習Ⅱ 演習 特殊研究 エンドユーザー実習Ⅳ エンドユーザー実習Ⅴ システム構築実習						
専	准教授	王 鏡 凱 （３４）	平成29年４月	経営管理論 経営財務論 意思決定論 演習 特殊研究						
専	准教授	大 芝 周 子 （３４）	平成29年４月	企業論 地場産業企業論 国際経営論 演習 特殊研究 ビジネス英語						
専	准教授	澤 田 成 章 （３１）	平成29年４月	商業簿記 財務会計論 経営分析 エンドユーザ実習Ⅲ 演習 特殊研究						
専	准教授	林 亮 輔 （３３）	平成29年４月	経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ 演習 特殊研究						
専	准教授	福 山 博 文 （４０）	平成29年４月	環境経済学 公共経済学 行動経済学 エンドユーザ実習Ⅲ 演習 特殊研究						
専	准教授	日 野 道 啓 （３８）	平成29年４月	経済学概論 国際経済学Ⅰ 国際経済学Ⅱ 演習 特殊研究						
専	講師	酒 井 佑 輔 （３３）	平成29年４月	地域づくりとNPO 社会教育と地域創造の関わりを学ぶ 多文化共生の地域づくり 演習 特殊研究 社会教育実習Ⅱ エンドユーザ実習Ⅲ アクティブ・ゼミ						

専	講師	馬 場　武 （３５）	平成29年４月	情報マネジメント 商学総論 ベンチャー企業論 マーケティング論 エンドユーザ実習Ⅰ エンドユーザ実習Ⅱ 演習 特殊研究						

（注）・　申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２９年５月１日現在の満年齢を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16 名	8 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ａ）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ｂ）
26	16	2	0	44	28	17	2	0	47	26	16	2	0	44
(28)	(17)	(2)	(0)	(47)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（Ａ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｂ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２９年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし	必修			
			選択			
			必修			

合計（A）			後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	平井　一臣	選択	政治学	②	理事就任のため辞任（29）
			選択	政治史	②	
2	教授	坂本　正幸	選択	民事訴訟法Ⅰ	①	他大学転出のため辞任（29）
			選択	民事訴訟法Ⅱ	①	

合計（C）			後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	4　科目	選択	2　科目	選択	2　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	4　科目	計	2　科目	計	2　科目	計	0　科目

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（A）＋（C）			後任補充状況の集計（B）＋（D）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	4　科目	選択	2　科目	選択	2　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	4　科目	計	2　科目	計	2　科目	計	0　科目

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：開講前に他の専任教員に交代しており，学生の履修等に影響はない。 学生への周知方法：２月８日付けで坂本教授の割愛依頼文書を受理した。３月７日に学生へシラバスの説明会を行い，３月１４日から履修登録手続きを開始したことから，学生への周知は特に行っていない。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （29年4月）	【2】現代の経済学の履修において数量的、統計的な分析の重要性は高まっていることから、「経済と数学」「数理統計学」について、履修モデルの中での位置付けを明確にすること。	留意事項	経済コースの履修モデルとして提示している「地域再生のための政策立案能力を育成する履修例」及び「地域再生のためのマネジメント能力を育成する履修例」について再検討し、下記のとおり変更した。 〇地域再生のための政策立案能力を育成する履修例 専門教育科目の活用のコース科目２年次に「経済学と数学」及び「数理統計学」を追記し、「都市社会学」及び「行政法総論Ⅱ」を削除した。 〇地域再生のためのマネジメント能力を育成する履修例 専門教育科目の活用のコース科目２年次に「経済学と数学」及び「数理統計学」を追記し、「金融システム論」及び「福祉社会学」を削除した。	

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

経済コース　地域再生のための政策立案能力を育成する履修例

共通・専門教育	科目別		必修 選択必修 選択	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
				学習内容				
				共通教育により大学での学びの基礎を身につけるとともに，学部共通科目によって人文社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握する。	学科・専攻基礎科目によって学修する専門領域の基礎を築くとともに，学部展開科目によって問題意識を持って関連する他領域の知識を習得する。	専門や副専攻の学修を通して，論理的・科学的思考力、実践的判断力及び説得的表現力を向上させる。	これまで学んだことを活用して演習に取組み、課題解決能力を身につける。	最低単位数
共通教育科目	初年次教育科目		必修	初年次セミナーⅠ				2
				初年次セミナーⅡ				2
				大学と地域				2
				体育・健康（理論）				1
				体育・健康（実習）				1
				情報活用				2
	グローバル教育科目		必修	英語				4
				異文化理解				2
	教養基礎科目		選択必修	初修外国語				4
			選択	人文・社会の教養基礎科目				2
				自然科学の教養基礎科目				2
				自然科学の教養基礎科目				2
	教養活用科目		選択	統合Ⅰ（課題発見）				2
				統合Ⅰ（課題解決）				2
専門教育科目	基礎	法文スタンダード科目	必修	人文社会総合論				2
		学科共通科目	必修	法経基礎演習				2
				法経総合講義				2
			選択必修※1	ミクロ経済学Ⅰ				14
				ミクロ経済学Ⅱ				
				マクロ経済学Ⅰ				
				マクロ経済学Ⅱ				
				統計形成論				
				統計利用論				
				商業簿記				
	活用	法文アドバンスト科目Ⅰ	選択必修		まちづくり論	地域科学特殊講義		6
		法文アドバンスト科目Ⅱ	選択必修		都市計画			
		コース科目	選択		経済学と数学	金融システム論		52
					数理統計論	地域計画論		
					金融論	農業政策論	日本経済論	
					経済政策論Ⅰ	国際貿易投資論Ⅰ	六次産業化論	
					経済政策論Ⅱ	国際貿易投資論Ⅱ	経済地理学	
					財政政策論Ⅰ	環境経済学	自治体政策論	
					財政政策論Ⅱ	地域計量分析	ファイナンス	
					国際経済学Ⅰ	地方財政論		
					国際経済学Ⅱ	コミュニティ論		
					公共経済学	地方自治法		
					行政法総論Ⅰ			
	実践	コース科目	選択		フィールド実習			
			必修		演習	演習	特殊研究	14
	自由科目※2		選択		人文地理学概説			2
							総単位数	124

※2　自由科目として他学科開講科目を履修し、これによって修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。

法文チャレンジ・プログラム	地域再生チャレンジ・プログラム	選択		社会調査 地域づくりとNPO 自治体政策論 人文地理学概説	コミュニティ論 まちづくりを考える 地域計画論 六次化産業論 地域計量分析	地理学講義	20
		必修			フィールド実習 課題レポート作成		3

経済コース　地域再生のためのマネジメント能力を育成する履修例

共通・専門教育	科目別		必修 選択必修 選択	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
				学習内容				
				共通教育により大学での学びの基礎を身につけるとともに，学部共通科目によって人文社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握する。	学科・専攻基礎科目によって学修する専門領域の基礎を築くとともに，学部展開科目によって問題意識を持って関連する他領域の知識を習得する。	専門や副専攻の学修を通して，論理的・科学的思考力、実践的判断力及び説得的表現力を向上させる。	これまで学んだことを活用して演習に取組み、課題解決能力を身につける。	最低単位数
共通教育科目	初年次教育科目		必修	初年次セミナーⅠ				2
				初年次セミナーⅡ				2
				大学と地域				2
				体育・健康（理論）				1
				体育・健康（実習）				1
				情報活用				2
	グローバル教育科目		必修	英語				4
				異文化理解				2
	教養基礎科目		選択必修	初修外国語				4
			選択	人文・社会の教養基礎科目				2
				自然科学の教養基礎科目				2
				自然科学の教養基礎科目				2
	教養活用科目		選択	統合Ⅰ（課題発見）				2
				統合Ⅰ（課題解決）				2
専門教育科目	基礎	法文スタンダード科目	必修	人文社会総合論				2
		学科共通科目	必修	法経基礎演習				2
				法経総合講義				2
			選択必修※1	企業論				14
				企業会計論				
				ミクロ経済学Ⅰ				
				ミクロ経済学Ⅱ				
				マクロ経済学Ⅰ				
				統計作成論				
				経済史入門				
	活用	法文アドバンスト科目Ⅰ	選択必修		まちづくり論	地域科学特殊講義		6
		法文アドバンスト科目Ⅱ	選択必修		都市計画			
		コース科目	選択		経済学と数学	経営管理論	地場産業企業論	52
					数理統計論	意思決定論	経営分析	
					経営戦略論	国際経営論	ベンチャー企業論	
					財務会計論	経営財務論	マーケティング論	
					工業簿記・原価計算論	地域計画論		
					商学総論	経営情報論		
					財政政策論Ⅰ	システム監査論		
					財政政策論Ⅱ	データベース論		
					金融論	システム設計		
					商業簿記	有価証券法	社会保障法	
					会社法Ⅰ			
	実践	コース科目	選択		フィールド実習			
			必修		演習	演習	特殊研究	14
	自由科目※2		選択		産業組織心理学			2
							総単位数	124

※1　学科基礎科目については、この科目群から6単位以上修得しなければならない。
※2　自由科目として他学科開講科目を履修し、これによって修得した単位を6単位まで卒業要件単位数に含めることができる。

法文チャレンジ・プログラム	地域再生チャレンジ・プログラム	選択		社会調査 地域づくりとNPO 自治体政策論 人文地理学概説	コミュニティ論 まちづくりを考える 地域計画論 六次化産業論 地域計量分析	地理学講義	20
		必修			フィールド実習 課題レポート作成		3

７　その他全般的事項

＜法文学部　法経社会学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	変更なし

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

法文学部において常設のFD委員会を設置している（鹿児島大学法文学部等委員会規則（抜粋）を添付）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

定期的に委員会を開催し、教員の資質の維持向上に係る種々の取り組みを実施している。

ｃ　委員会の審議事項等

教育内容・方法及び改善に関する事項

②　実施状況

ａ　実施内容

・　教員相互の授業参観・授業公開
・　授業方法に関する講演会
・　学生による授業評価アンケート
・　ティーチング・アシスタントに対するアンケート
・　新しい教育方法や取り組み関する調査・研究

ｂ　実施方法

できるだけ多くの教員が参加できる時期や時間を設定して実施している。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度中にFD講演会、授業評価アンケート等を実施予定である。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新たな教育方法等の導入や授業参観、授業評価アンケートのより効果的な実施方法等について、FD委員会を中心に検討している。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

各学期末に学生による授業評価アンケートを実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

アンケート結果を集計・分析し、教員に配布している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、当初の計画に沿って実施しており、一部の科目については前倒しで開講する。

募集定員を大きく超える受験者を得ており、新しい法文学部の理念や教育プログラムが鹿児島県を中心とする受験生や高等学校、地域社会に受け入れられているものと考えている。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

未定（平成３１年度）

ｂ　公表方法

・年度計画進捗管理システム及び研究者情報管理システムを活用し年度毎のデータを収集したうえで，３年ごとに自己評価報告書を作成する。

③　認証評価を受ける計画

・平成３３年度に機関別評価を受ける予定

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（平成　２９　年　９　月　１　日）

○鹿児島大学法文学部等委員会規則

平成16年４月１日
法 規 則 第 ５ 号

（ＦＤ委員会）
第16条　組織運営規則第17条第３項第７号のＦＤ委員会は、次の各項による。
２　ＦＤ委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
(1) 全学ＦＤ委員会委員
(2) 各学科から選出された委員　各２名
(3) 法学専攻から選出された委員　１名
(4) 経済社会システム専攻から選出された委員　１名
(5) 人文系専攻から選出された委員　１名
(6) 地域政策科学専攻から選出された委員　１名
３　ＦＤ委員会は、次に掲げる事項を審議する。
(1) 教育内容・方法及び改善に関する事項
(2) その他ＦＤ委員会が必要と認める事項
４　ＦＤ委員会に委員長を置き、委員の互選による。
５　第２項第２号、第３号、第４号、第５号及び第６号の委員の任期は、２年とし再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人鹿児島大学

（２）大　学　名

鹿児島大学

（３）大学の位置

〒８９０－８５８０
鹿児島県鹿児島市郡元一丁目２１番２４号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
学　　長	（マエダ　ヨシザネ） 前田　芳實 （平成25年４月１日）		
学 部 長	（タカツ　タカシ） 高津　孝 （平成28年４月１日）		
学科長等	（タケオカ　ケンイチ） 竹岡　健一 （平成28年４月１日）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２７年度に報告済の内容　→（27）
平成２９年度に報告する内容　→（29）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２６年度開設の４年制の学科の場合（平成２９年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
法文学部 人文学科 学士（文学）	文学関係	年 4	人 165	年次 人 （3年次 10）	人 660	編入学定員は学部全体の数

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	人 165 （ － ） [－]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	1.02倍	
志願者数	652 (－) [10]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
受験者数	488 (－) [9]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
合格者数	186 (－) [4]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
B　入学者数	169 (－) [3]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
入学定員超過率 B／A	1.02									

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　[　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	169 [3]	[　　]	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
２年次			[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
３年次					[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
４年次							[　　] (　　)	[　　] (　　)	
計	169 [3] (－)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成29年度入学者	165 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成31年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成32年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合　計	165 人	0 人					0.00 %

（注）・ 数字は，平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜法文学部　人文学科＞

（１）授業科目表

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通教育科目	初年次教育科目		初年次セミナーⅠ	1前	2								兼 1	
			初年次セミナーⅡ	1後	2								兼 1	
			大学と地域	1前･後	2								兼 10	
			体育・健康科学理論	1後	1								兼 2	
			体育・健康科学実習	1前	1								兼 1	
			情報活用	1前	2								兼 1	
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ教育科目		英語ⅠA・英語ⅠB	1前	2								兼 1	
			英語ⅡA・英語ⅡB	2後	2								兼 1	
			異文化理解入門	1前	2								兼 1	
	日本語・日本事情科目		日本語Ⅰ	1前		1							兼 1	外国人留学生のみ
			日本語Ⅱ	1後		1							兼 1	外国人留学生のみ
			日本語Ⅲ	1後		1							兼 1	外国人留学生のみ
			日本語Ⅳ	1後		1							兼 1	外国人留学生のみ
			日本事情A	1前		2							兼 1	外国人留学生のみ
			日本事情B	1後		2							兼 1	外国人留学生のみ
			日本事情C	2前		2							兼 1	外国人留学生のみ
			小計（16科目）	－	16	10	0	0	0	0	0	0	兼 26	－
共通教育科目（教養教育科目）	初修外国語（人文・社会科学分野）		初級独語Ⅰ	1前		2							兼 1	
			初級仏語Ⅰ	1前		2							兼 1	
			初級中国語Ⅰ	1前		2							兼 1	
			初級韓国語Ⅰ	1前		2							兼 1	
			初級独語Ⅱ	1後		2							兼 1	
			初級仏語Ⅱ	1後		2							兼 1	
			初級中国語Ⅱ	1後		2							兼 1	
			初級韓国語Ⅱ	1後		2							兼 1	
			小計（8科目）	－	0	16	0	0	0	0	0	0	兼 8	－
	教養基礎科目	選択科目（人文・社会科学分野）	アラビア入門１	1前		1							兼 1	
			「生き方」としての宗教論	1前		2			1					
			稲盛和夫の経営哲学	1前		2							兼 1	
			映画論	1前		2							兼 1	
			関わりあいの心理学	1前		2							兼 1	
			鹿児島から考える多文化共生	1前		2							兼 1	
			鹿児島探訪－歴史－	1前		2							兼 1	
			鹿児島の歴史地理	1前		2			1					
			合唱Ⅰ	1前		1							兼 1	
			合奏演習Ⅰ	1前		1							兼 1	
			ｷｬﾘｱ・恋人・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの社会学	1前		2		1						
			グローバル人材育成（雲南）	1前		2							兼 1	
			言語と文化	1前		2		1						
			現代企業経営論	1前		2		1						
			現代の日本政治	1前		2							兼 1	
			行動科学	1前		2			1					
			国際経済学入門	1前		2			1					
			国際私法入門	1前		2			1					
			古代東アジアの王陵	1前		2							兼 1	
			司法制度論	1前		2			1					
			障害児教育入門	1前		2							兼 1	
			心理学概論	1前		2							兼 1	
			森林経済学Ⅰ	1前		2							兼 1	
			西洋史入門	1前		2		1						
			世界の中のイスラーム	1前		2							兼 1	
			大学の日本史	1前		2		1						
			地方自治体の課題と政策	1前		2			1					
			著作権とﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ	1前		2							兼 1	
			地理学	1前		2							兼 1	
			唐代の文学	1前		2		1						
			日本国憲法	1前		2							兼 3	
			入門：起業のための人材育成Ⅱ	1前		2							兼 1	
			人間と環境の心理学	1前		2							兼 1	
			How Language and Music Influences Sciety	1前		2							兼 1	
			発達臨床心理学	1前		2							兼 1	
			犯罪心理学	1前		2							兼 1	
			東アジア社会史	1前		2		1						

			美術への誘い	1前		2							兼 1	
			万葉集ー古代人の心とことばー	1前		2							兼 1	
			ライフスキルの心理学	1前		2							兼 1	
			倫理学入門	1後		2		1						
			アイデア・発明から特許へ	1後		2							兼 1	
			医学・行動心理学入門	1後		2							兼 1	
			稲盛和夫のベンチャー企業論	1後		2							兼 1	
			ウォッチング現代政治	1後		2							兼 1	
			関わり合いの心理学入門	1後		2							兼 1	
			鹿児島から考える多文化共生	1後		2							兼 1	
			鹿児島探訪ー歴史ー	1後		2							兼 1	
			合唱Ⅱ	1後		1							兼 1	
			合奏演習Ⅱ	1後		1							兼 1	
			環境文学入門	1後		2							兼 1	
			韓国語入門Ⅰ	1後		1							兼 1	
			狂言の世界	1後		2							兼 1	
			暮らしから試みるニュース	1後		2							兼 1	
			経済原論	1後		4							兼 1	
			現代社会と環境教育	1後		2							兼 1	
			現代社会を考える	1後		2							兼 1	
			行動科学	1後		2			1					
			コーポレートファイナンス	1後		2							兼 1	
			自然体験活動入門講座	1後		2							兼 1	
			実験医学・行動心理学	1後		2							兼 1	
			社会学の世界	1後		2							兼 1	
			障害児教育入門	1後		2							兼 1	
			初級フィリピノ語講座	1後		2							兼 1	
			16・17世紀イギリ演劇への招待	1後		2							兼 1	
			水産経済学	1後		2							兼 1	
			税と法律	1後		2							兼 1	
			戦後日本外交史	1後		2							兼 1	
			地域ブランドを学ぶ	1後		2							兼 1	
			中国語入門Ⅰ	1後		1							兼 1	
			中国と東アジアの世界	1後		2							兼 1	
			哲学入門	1後		2							兼 1	
			独語入門Ⅰ	1後		1							兼 1	
			日本国憲法	1後		2							兼 1	
			日本史を読む	1後		2							兼 1	
			日本史学	1後		2							兼 1	
			日本の焼き物	1後		2							兼 1	
			入門：起業のための人材育成Ⅰ	1後		2							兼 1	
			農業経済学	1後		2							兼 1	
			平和学ー広島・長崎講座ー	1後		2							兼 1	
			仏語入門Ⅰ	1後		1							兼 1	
			ブラジルの社会と文化	1後		2							兼 1	
			陽明学入門	1後		2							兼 1	
			小計（94科目）	―	0	159 ~~191~~	0	8	8	0	0	0	69 兼 ~~26~~	集計の誤り(29) ―
		選択科目（自然科学分野）	遺伝のしくみ	1前		2							兼 1	
			宇宙科学	1前		2							兼 1	
			科学ジャーナリズム	1前		2							兼 1	
			技術概論	1前		2							兼 1	
			技術と文化	1前		2							兼 1	
			教養微分積分学	1前		2							兼 1	
			暮らしの中のバイオ	1前		2							兼 1	
			現代物理学入門	1前		2							兼 1	
			娯楽数学	1前		2							兼 1	
			行動生態学	1前		2							兼 1	
			資源生産管理学	1前		2							兼 1	
			地震と火山	1前		2							兼 1	
			焼酎	1前		2							兼 1	
			神経行動学	1前		2							兼 1	
			水産海洋学	1前		2							兼 1	
			水産生物学	1前		2							兼 1	
			数理科学入門	1前		2							兼 1	
			スポーツ実習（卓球）	1前		2							兼 1	
			スポーツ実習（ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ）	1前		2							兼 1	
			生物とリズム	1前		2							兼 1	
			生命と物理	1前		2							兼 1	

			相対論を学ぶ	1前		2							兼 1	
			データ解析への入門	1前		2							兼 1	
			動物の生態と社会	1前		2							兼 1	
			動物の病気	1前		2							兼 1	
			入門物理Ⅰ	1前		2							兼 1	
			乗り物の物理学	1前		2							兼 1	
			Fisheries and Fisheries Sciences	1前		2							兼 1	
			分子生物学入門	1前		2							兼 1	
			身近な話題の生物学	1前		2							兼 1	
			無機化学入門	1前		2							兼 1	
			ものづくり入門	1前		2							兼 1	
			遊びと科学	1後		2							兼 1	
			新しい物質観	1後		2							兼 1	
			医学・脳科学入門	1後		2							兼 1	
			医学生物学	1後		2							兼 1	
			依頼・介入関係の基礎理念	1後		2							兼 1	
			宇宙の利用	1後		2							兼 1	
			科学技術論	1後		2							兼 1	
			基礎溶液化学	1後		2							兼 1	
			教養線形代数学	1後		2							兼 1	
			健康管理	1後		2							兼 1	
			細胞生物学入門	1後		2							兼 1	
			実験医学・脳科学	1後		2							兼 1	
			焼酎	1後		2							兼 1	
			情報数学Ⅰ	1後		2							兼 1	
			食品・化粧品・医薬品の有機化学	1後		2							兼 1	
			植物学入門	1後		2							兼 1	
			植物生態学	1後		2							兼 1	
			初心者のためのｻﾊﾞｲﾊﾞﾙ生物学	1後		2							兼 1	
			森林科学	1後		2							兼 1	
			水圏環境保全科学	1後		2							兼 1	
			水産食品科学	1後		2							兼 1	
			水産増養殖学	1後		2							兼 1	
			スポーツサイエンス	1後		2							兼 1	
			スポーツ実習（バドミントン）	1後		1							兼 1	
			生化学実験Ⅰ	1後		2							兼 1	
			生命と炭素化合物	1後		2							兼 1	
			生命科学	1後		2							兼 1	
			生命科学情報活用Ⅰ	1後		2							兼 1	
			地球と環境	1後		2							兼 1	
			ＤＮＡの科学	1後		2							兼 1	
			電気電子工学入門	1後		2							兼 1	
			身近な科学	1後		2							兼 1	
			小計（64科目）	―	0	127	0	0	0	0	0	0	兼 26	―
	教養活用科目	統合Ⅰ（課題発見）	いのちと地域を守る防災学Ⅰ	1前	2								兼 1	
			かごしま教養プログラム	1前	2								兼 1	
			環境ビジネスⅠ	1前	2			1						
			キャリアデザイン	1前	2								兼 1	
			ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｲﾆｼｱﾃｨﾌﾞ概論	1前	2								兼 1	
			グローバル社会を生きる	1前	2								兼 1	
			自然学校へ移行　実践論Ⅰ	1前	2								兼 1	
			実用英語短期講座　’１６	1前	2								兼 1	
			社会人としての救急措置入門	1前	2								兼 1	
			人生における出会いの意義と役割	1前	2								兼 1	
			生命化学への招待	1前	2								兼 1	
			大学生のための社会人基礎力入門	1前	2								兼 1	
			大学で学ぶ	1前	2								兼 1	
			地球環境保全のための国際協力	1前	2								兼 1	
			博物館へのいざない	1前	2								兼 1	
			防災フィールドワーク	1前	2								兼 1	
			鹿児島の地域に学ぶ	1後	2								兼 1	
			鹿児島大学に学ぶ	1前	2								兼 1	
			キャリアデザイン	1後	2								兼 1	
			ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｲﾆｼｱﾃｨﾌﾞ概論	1後	2								兼 1	
			現代社会と大学	1後	2								兼 1	
			自然学校へ移行　実践論Ⅱ	1後	2								兼 1	
			手話入門	1後	2								兼 1	
			消費者教育	1後	2								兼 1	
			女性学入門	1後	2								兼 1	

			進取の精神：その現在・過去・未来	1後	2								兼 1	
			人生における出会いの意義と役割	1後	2								兼 1	
			全人的歯科医療実践学	1後	2								兼 1	
			大学生のための社会人基礎力入門	1後	2								兼 1	
			男女共同参画とキャリアデザイン	1後	2								兼 1	
			小計（30科目）	―	60	0	0	1	0	0	0	0	兼 29	―
		統合Ⅱ（課題解決）	奄美の民俗文化	1前	2								兼 1	
			イスラームの多様性に学ぶ	1前	2								兼 1	
			稲盛和夫のリーダー論	1前	2								兼 1	
			かごしまフィールドスクール	1前	2								兼 1	
			鹿児島探訪－環境－	1前	2								兼 1	
			鹿児島探訪－文化－	1前	2			1						
			環境と進化の科学	1前	2								兼 1	
			がんはなぜおこるのか	1前	2								兼 1	
			ロと顔の科学	1前	2								兼 1	
			国際異文化交流Ⅰ	1前	2								兼 1	
			国際関係論	1前	2								兼 1	
			国際協力体験講座－タイコース－	1前	2								兼 1	
			国際協力体験講座－ﾐｬﾝﾏｰｺｰｽ－	1前	2								兼 1	
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前	2								兼 1	
			自然学校インターンシップⅠ	1前	2								兼 1	
			自然学校へ行こう！	1前	2								兼 1	
			実践キャリアデザイン	1前	2								兼 1	
			シラス地域学	1前	2								兼 1	
			滞在者のためのコミュニケーションスキル：中国編	1前	2								兼 1	
			短期派遣留学Ⅰ	1前	1								兼 1	
			短期派遣留学Ⅱ	1前	1								兼 1	
			地域環境論	1前	2								兼 1	
			地域防災学実践Ⅰ	1前	2								兼 1	
			南米における進取の気風研修計画	1前	2								兼 1	
			ピアカウンセリング入門	1前	2								兼 1	
			東アジア社会の共通課題は何か？	1前	2								兼 1	
			ヒトの身体の仕組みと働き	1前	2								兼 1	
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅰ	1前	2								兼 1	
			北米におけるグローバル人材育成	1前	2								兼 1	
			南太平洋多島域	1前	2								兼 1	
			屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1前	2								兼 1	
			屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前	2								兼 1	
			有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	1前	2								兼 1	
			有機農業Ⅲ 田んぼでアウトドア	1前	2								兼 1	
			留学生のための異文化理解	1前	2								兼 1	
			奄美の民俗文化	1後	2								兼 1	
			いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後	2								兼 1	
			英語によるグローバル人材育成	1後	2								兼 1	
			海外研修基礎ｺｰｽinｶﾘﾌｫﾙﾆｱ	1後	2								兼 1	
			海外研修基礎ｺｰｽin東南アジア	1後	2								兼 1	
			海外研修基礎ｺｰｽinハワイ	1後	2								兼 1	
			鹿児島探訪－環境－	1後	2								兼 1	
			鹿児島探訪－循環型社会と世界遺産－	1後	2								兼 1	
			鹿児島探訪－地域産業－	1後	2								兼 1	
			鹿児島の四季　キャンパス俳句会	1後	2								兼 1	
			環境ビジネス２	1後	2								兼 1	
			九州の古墳文化	1後	2								兼 1	
			共生のためのフェア・トレード	1後	2								兼 1	
			共生のためのフェア・トレードⅡ	1後	2								兼 1	
			ロと顔の科学	1後	2								兼 1	
			健康を創り，守る	1後	2								兼 1	
			国際異文化交流Ⅱ	1後	2								兼 1	
			国際感覚を持つバイテク人材育成	1後	2								兼 1	
			国際協力論	1後	2								兼 1	
			自己理解・他者理解と障害理解	1後	2								兼 1	
			自然学校インターンシップⅡ	1後	2								兼 1	
			自然環境保全と世界遺産	1後	2								兼 1	
			島のしくみ	1後	2								兼 1	
			短期派遣留学Ⅰ	1後	1								兼 1	
			短期派遣留学Ⅱ	1後	1								兼 1	
			地域就業キャリアデザイン	1後	2								兼 1	
			地域防災学実践Ⅱ	1後	2								兼 1	

			ピアカウンセリング入門	1後	2								兼 1	
			ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅱ	1後	2								兼 1	
			放射線の世界	1後	2								兼 1	
			森・ひと・体験	1後	2								兼 1	
			屋久島の環境文化Ⅱ－生き物－	1後	2								兼 1	
			屋久島の環境文化Ⅳ－生活と文化－	1後	2								兼 1	
			有機農業Ⅱ　有機農業入門	1後	2								兼 1	
			留学生のための異文化理解	1後	2								兼 1	
			小計（70科目）	－	136	0	0	1	0	0	0	0	兼 69	－
専門教育科目	基礎	法文スタンダード科目	人文社会総合論	1前	2			8	7					オムニバス
			小計（1科目）	－	2	0	0	8	7	0	0	0		－
		学科共通科目	人文科学基礎Ⅰ	1前	2			22	19					学科・必，共同
			人文科学基礎Ⅱ	1後	2			22	19					学科・必，共同
			多元地域文化コース基礎Ⅰ	2前		2		19	15					多元・必，オムニバス
			多元地域文化コース基礎Ⅱ	2後		2		19	15					多元・必，オムニバス
			心理学コース基礎Ⅰ	2前		2		1						心理・必，オムニバス
			心理学コース基礎Ⅱ	2後		2		3	4					心理・必，オムニバス
			メディア史概説	1前		2			1					
			芸術文化史概説	1後		2			1					
			言語思想史概説	1後		2			1					
			哲学概説	1前		2			1					
			倫理学概説	1後		2		1						
			日本史概説	1前		2		2					兼 1	オムニバス
			東洋史概説A	1前		2			1					
			東洋史概説B	1後		2		1						
			西洋史概説	1前		2		1						
			日本文学史概説A	1後		2		1						
			日本文学史概説B	1後		2			1					
			中国文学概説A	1前		2		1						
			中国文学概説B	1前		2		1						
			イギリス文学概説A	1前		2		1						
			イギリス文学概説B	1前		2		1						
			アメリカ文学概説A	1前		2		1						
			アメリカ文学概説B	1後		2		1						
			日本語学概説A	1後		2		1						
			日本語学概説B	1後		2		1						
			英語学概説A	1前		2			1					
			英語学概説B	1前		2			1					
			人文地理学概説	1前		2			1					
			自然地理学概説	1後		2			1					
			地誌学概説	1後		2			1					
			考古学概説A	1前		2		1						
			考古学概説B	1前		2			1					
			文化人類学概説	1前		2		1						
			比較民俗学概説	1後		2							兼 1	
			心理学概論	1前		2			1					心理・必
			心理学研究法	2前		2			1					心理・必
			心理統計法	1後		2		1						心理・必
			社会学概論	1前		2		~~1~~					兼 1	
			経済学概論	1前		2		~~1~~					兼 1	
			小計（39科目）	－	4	74	0	~~22~~ 21	19	3	0	~~2~~	兼 4	－
	活用1	多元地域文化コース科目	多文化交流論	2前		2			1					
			英語圏比較文化論	2後		2		1						
			表象文化論	2後		2			1					
			ポピュラーカルチャー論	2前		2			1					
			現代文化論	2前		2		1						
			言語と文化	2前		2		1						
			社会言語学	2後		2		1						
			書籍文化研究	2前		2		1						
			報道論	2前		2			1					

			哲学研究A	2前		2		1					
			哲学研究B	2後		2			1				
			日本歴史・文化研究A	2後		2		1					
			日本歴史・文化研究B	2後		2		1					
			アジア歴史・文化研究A	2後		2			1				
			アジア歴史・文化研究B	2前		2		1					
			西洋歴史・文化研究A	2前		2		1					
			西洋歴史・文化研究B	2後		2		1					
			日本古典文学研究A	2前		2						兼 1	
			日本古典文学研究B	2前・後		2		1					
			日本近現代文学研究A	2前		2			1				
			日本近現代文学研究B	2後		2			1				
			中国文学研究	2後		2		1					
			アジア言語研究A	2前		2			1				
			アジア言語研究B	2後		2			1				
			中国言語文化研究A	2前		2			1				
			中国言語文化研究B	2後		2			1				
			イギリス演劇研究	2後		2		1					
			現代ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ｱﾒﾘｶ文化研究	2前		2		1					
			ドイツ語圏文化研究	2前		2		1					
			日本語学研究Ａ	2前		2		1					
			日本語学研究Ｂ	2後		2						兼 1	
			英語学研究	2前		2			1				
			地理学講義A	2前		2			1				
			地理学講義B	2後		2			1				
			地誌学講義	2後		2			1				
			考古学研究A	2前･後		2		1					
			考古学研究B	2前･後		2			1				
			考古学研究Ｃ	2前･後		2						兼 1	
			文化人類学研究	2後		2		1	1				
			小計（39科目）	―	0	78	0	19	14 ~~15~~	0	0	~~2~~	4 兼 ~~3~~	―
		心理学コース科目	神経科学	2後		2				1				
			学校心理学	3後		2							兼 1	
			教育心理学概説	3前		2							兼 1	
			障害児心理学	3後		2							兼 1	
			心理査定学	2後		2			1					
			生涯発達心理学	2前		2		1						
			発達臨床心理学	3後		2		1						
			消費者心理学	2後		2			1					
			説得・交渉心理学	3前		2		1						
			精神医学	3前		2							兼 1	
			医療関連法	3後		2							兼 1	
			パーソナリティ論	3前		2							3 兼 ~~1~~	授業内容の充実のため担当教員を追加(29)
			比較心理学	2前		2		1						
			認知心理学	2後		2			1					
			学習心理学	3後		2			1					
			発達心理学	2前		2							兼 1	
			臨床援助論	3前		2							1 兼 ~~2~~	兼担教員が他大学へ転出したため(29)
			臨床心理学	2前		2			1					
			コミュニティ援助論	2後		2				1				
			社会心理学	2後		2			1					
			産業・組織心理学	2前		2				1				
			小計（21科目）	―	0	42	0	3	4	3	0	0	10 兼 ~~9~~	―
	活用2	多元地域文化コース科目	多文化交流論演習１	2前･後		2			1					
			芸術文化論演習	2後		2			1					
			メディア論演習	2前		2			1					
			表象文化論演習１	2後		2			1					
			ポピュラーカルチャー論演習１	2前		2			1					
			現代文化論演習１	2前･後		2		1						
			言語と文化演習	2後		2		1						
			社会言語学演習１	2前		2		1						
			書籍文化演習１	2前･後		2		1						

			報道論演習１	2前・後		2			1						
			哲学演習A１	2前･後		2		1							
			哲学演習B１	2前･後		2			1						
			日本歴史・文化演習A１	2前･後		2		1							
			日本歴史・文化演習B１	2前･後		2		1							
			アジア歴史・文化演習A１	2前･後		2			1						
			アジア歴史・文化演習B１	2前･後		2		1							
			アジア歴史・文化演習C１	2前		2		1	1						
			西洋歴史・文化演習A１	2前･後		2		1							
			西洋歴史・文化演習B１	2前・後		2		1							
			日本語学演習A１	2前		2		1							
			日本語学演習B１	2後		2		1							
			日本古典文学演習A1	2前		2		1							
			日本古典文学演習B1	2後		2		1							
			日本近現代文学演習A1	2前		2			1						
			日本近現代文学演習B1	2後		2			1						
			中国文学演習A1	2前		2		1							
			中国文学演習B1	2後		2		1							
			アジア言語演習A１	2前		2			1						
			アジア言語演習B１	2後		2			1						
			中国言語文化演習A１	2前		2			1						
			中国言語文化演習B１	2後		2			1						
			イギリス文学演習１	2前･後		2		1							
			アメリカ文学演習１	2前･後		2		1							
			現代ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ｱﾒﾘｶ文化演習１	2後		2		1							
			多言語文化論演習１	2前		2			1						
			ドイツ言語・文化演習１	2前・後		2		2							
			フランス言語・文化演習	2前・後		2		1	1						
			英語学演習１	2前･後		2			1						
			地理学演習A１	2前		2			1						
			地理学演習B１	2後		2			1						
			考古学演習１	2前･後		2		1	1						
			文化人類学演習１	2前		2		1	1						
			文化人類学実習	2後		1		1	1						
			考古学実習	2前・後		1		1	1						
			言語文学実習	2後		1								オムニバス	
			地域フィールド実習	2前		1								オムニバス	
			日本古典文学リテラシー実習	2前		1		1							
			地理学実験	2前		1			2						
			地理学実習	2前・後		1			2						
			書道実習	2前		1							兼１		
			古文書実習A	2前		1		1							
			古文書実習B	2前		1		1							
			英語ライティング	2前・後		2		1							
			英語オーラル	2前・後		2		1							
			英語コミュニケーション A	2前		2		1							
			英語コミュニケーション B	2後		2		1							
			英語コミュニケーション演習	3前・後		2		1							
			多文化交流論演習２	3前・後		2			1						
			表象文化論演習２	3前・後		2			1						
			ポピュラーカルチャー論演習２	3前・後		2			1						
			現代文化論演習２	3前・後		2		1							
			書籍文化演習２	3前・後		2		1							
			報道論演習２	3前・後		2			1						
			社会言語学演習２	3前・後		2		1							
			哲学演習２	3前・後		2		1	1						
			日本歴史・文化演習２	3前・後		2		2							
			アジア歴史・文化演習２	3前・後		2		1	1						
			西洋歴史・文化演習２	3前・後		2		2							
			日本語学演習２	3後		2		2	1						
			日本古典文学演習2	3後		2		1							
			日本近現代文学演習2	3後		2			1						
			中国文学演習２	3前		2		1							
			アジア言語演習2	3後		2			1						
			中国言語文化演習2	3後		2			1						

		イギリス文学演習２	3前・後		2		1						
		アメリカ文学演習２	3前・後		2		1						
		考古学演習２	3前･後		2		1	1					
		現代ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ｱﾒﾘｶ文化演習２	3前・後		2		1						
		ドイツ言語・文化演習２	3前・後		2		1						
		多言語文化論演習２	3前・後		2			1					
		英語学演習２	3前・後		2			1					
		文化人類学演習２	3前・後		2		1	1					
		地理学演習２	3前・後		2			2					
		博物館実習	4前		3		1						
		小計（5科目）	―	0	159	0	19	15	0	0	~~2~~	兼 1	―
	心理学コース科目	コミュニティ援助論演習	3前・後		2				1				
		神経科学演習	3前・後		2				1				
		心理査定学演習	3前・後		2			1					
		生涯発達心理学演習	3前・後		2		1						
		消費者心理学演習	3前・後		2		1						
		産業・組織心理学演習	3前・後		2				1				
		多変量データ解析演習	3後		2		1	1	1				オムニバス
		心理学実験実習	2前		1		2	2	1				オムニバス
		心理アセスメント実習	2後		1		1	2	2				オムニバス
		比較心理学演習	3前・後		2		1						
		認知心理学演習	3前・後		2			1					
		臨床心理学演習	3前・後		2			1					
		社会心理学演習	3前・後		2			1					
		臨床援助論演習	3前・後		2							1 兼 ~~2~~	兼担教員が他大学へ転出したため(29)
		心理療法演習	3前		2			1					
		小計（15科目）	―	0	28	0	3	4	3	0	0	兼 2	―
実践	多元地域文化コース科目	卒業論文	4前・後	8			19	15			~~2~~		
		小計（1科目）	―	8	0	0	19	15	0	0	0 ~~2~~	兼 0	―
	心理学コース科目	コミュニティ心理支援実習	３前		1		2 ~~1~~	1 ~~2~~	1				授業内容の充実のため担当教員を変更(29) 共同
		産業心理支援実習	３後		1		~~1~~	2 ~~1~~	1				授業内容の充実のため担当教員を変更(29) 共同
		卒業論文	４前・後	8			3	4	3				共同
		小計（3科目）	―	8	2	0	3	4	3	0	0		―
法文アドバンスト科目Ⅰ		現代社会を探る	１前		2							兼 1	
		地域科学特殊講義	2前		2		5	4				兼 6	オムニバス
		観光学	3前		2							兼 1	
		島嶼ツーリズム論	4前		2							兼 1	
		マスコミ論	2後		2			1					
		アジアの法と社会	4前		2							兼 1	
		キャリア論	2後		2							兼 1	
		アクティブ・ゼミ	3前・後		2		1	1					
		地域科学演習	3後		2		1	1					
		マスコミ論演習	3前		2			1					
		自治体政策総合論	2前		2			1					
		まちづくり論	2後		2		1						
		地域心理支援論	2後		2		1	2	1			兼 4	オムニバス
		行政企業体験実習	3前・後		1		1						
		海外異文化体験実習	3前		1		~~1~~	1					授業内容の充実のため担当教員を変更(29)
		小計（15科目）	―	0	28	0	9 ~~10~~	10 ~~9~~	1	0	0	兼 14	―

	法文アドバンスト科目Ⅱ	自然科学から見る人・文化・社会	2前		2							兼 1	
		水産学概論	3前		2							兼 1	
		日本水産業概論	3前		2							兼 1	
		水圏環境保全科学	2後		2							兼 1	
		科学ジャーナリズム	4前		2							兼 1	
		生命共生論	3後		2							兼 1	
		畜産科学概論	2後		2							兼 1	
		応用植物科学概論	2後		2							兼 1	
		食料生命科学序論	3前		2							兼 1	
		比較酒文化論	4前		2							兼 1	
		小計（10科目）	―	0	20	0	0	0	0	0	0	兼 10	―

（注）・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
・ 設置時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・ 兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月　提出予定」と記入してください。）
・「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 185	科目 0	科目 189	科目 4 [０]	科目 183 [△２]	科目 0 [０]	科目 187 [△２]	人文学科多元地域文化コース
科目 4	科目 100	科目 0	科目 104	科目 4 [０]	科目 100 [０]	科目 0 [０]	科目 104 [０]	人文学科心理学コース

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	メディア史概説	2	１前	専門	選択	担当教員海外研修のため
2	言語思想史概説	2	１後	専門	選択	担当教員海外研修のため
3						

（注）・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：「本科目の未開講は、担当教員の在外研究というやむを得ない事情によるものであるが、基礎科目が他にも多数開講されていることと、2年次以降にも履修可能であることを考慮したとき、学生の履修に特段の影響はない。
学生への周知方法：平成29年度入学生全員の必修科目である「人文社会総合論」の授業において周知するとともに、メールと掲示による周知を行った。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{293} = 0.68\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	525,967㎡	0㎡	0㎡	525,967㎡	
	運動場用地	106,929㎡	0㎡	0㎡	106,929㎡	
	小計	632,896㎡	0㎡	0㎡	632,896㎡	
	その他	35,960,681㎡	0㎡	0㎡	35,960,681㎡	
	合計	36,593,577㎡	0㎡	0㎡	36,593,577㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		241,689㎡ (241,689㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	241,689㎡ (241,689㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	145室	287室	1,662室	29室 (補助職員 0人)	5室 (補助職員 0人)	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	法文学部　人文学科	43室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	法文学部	1,288,239〔374,399〕 (1,288,239〔374,399〕)	36,422〔11,782〕 (36,422〔11,782〕)	6,242〔5,929〕 (6,242〔5,929〕)	8,439 (8,439)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)	大学全体
	計	1,288,239〔374,399〕 (1,288,239〔374,399〕)	36,422〔11,782〕 (36,422〔11,782〕)	6,242〔5,929〕 (6,242〔5,929〕)	8,439 (8,439)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	15,479㎡	1,142	1,205,000	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	4,655㎡	陸上競技場、球技場、野球場	武道場、室内プール、艇庫	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２９年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（29）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	鹿児島大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
≪ＡＣ対象学部等≫									
法文学部			3年次 10	20		－			編入学定員は学部全体の定員で外数。平成31年度より学生募集。
法経社会学科	4	245		245	学士 （法学・経済学・学術）	1.05	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
人文学科	4	165		165	学士 （文学）	1.02	平成29年度	同上	
法政策学科	4	－		－	学士 （法学）	－	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
経済情報学科	4	－		－	学士 （経済学）	－	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
人文学科	4	－		－	学士 （文学）	－	昭和54年度	同上	平成29年度学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	200	－	875	学士 （教育学）	1.03	平成9年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	平成29年度入学定員減(25人)
特別支援教育教員養成課程	4	15	－	60	学士 （教育学）	1.01	昭和49年度	同上	
生涯教育総合課程	4	－	－	－	学士 （教育学）	－	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
理学部									
数理情報科学科	4	40	－	160	学士 （理学）	1.03	平成9年度	鹿児島市郡元一丁目21番35号	
物理科学科	4	45	－	180	学士 （理学）	1.03	平成9年度	同上	
生命化学科	4	50	－	200	学士 （理学）	1.02	平成9年度	同上	
地球環境科学科	4	50	－	200	学士 （理学）	1.04	平成9年度	同上	
医学部									
医学科	6	107	2年次 10	692	学士 （医学）	1.00 (0.83)	昭和30年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	（編入学定員は内数。10月入学のみ。）
保健学科						1.00			
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 （看護学）	1.00 (0.45)	平成11年度	同上	（編入学定員は内数）
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 （保健学）	1.00 (0.50)	平成11年度	同上	同上
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 （保健学）	1.00 (0.30)	平成11年度	同上	同上
歯学部									
歯学科	6	53	－	318	学士 （歯学）	1.00	昭和52年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	

工学部			3年次 20	40		1.03			編入学定員は学部全体の定員で外数。
機械工学科	4	94		376	学士 （工学）	1.03	昭和30年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
電気電子工学科	4	78		312	学士 （工学）	1.06	平成4年度	同上	
建築学科	4	55		220	学士 （工学）	1.08	昭和30年度	同上	
環境化学プロセス工学科	4	35		140	学士 （工学）	1.07	平成21年度	同上	
海洋土木工学科	4	48		192	学士 （工学）	1.02	平成4年度	同上	
情報生体システム工学科	4	80		320	学士 （工学）	1.05	平成21年度	同上	
化学生命工学科	4	50		200	学士 （工学）	1.05	平成21年度	同上	
農学部									
農業生産科学科	4	75	－	150	学士 （農学）	1.07	平成28年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
食料生命科学科	4	70	－	140	学士 （農学）	1.03	平成28年度	同上	
農林環境科学科	4	60	－	120	学士 （農学）	1.00	平成28年度	同上	
生物生産学科	4	－	－	－	学士 （農学）	－	平成2年度	同上	平成28年度学生募集停止
生物資源化学科	4	－	－	－	学士 （農学）	－	平成2年度	同上	平成28年度学生募集停止
生物環境学科	4	－	－	－	学士 （農学）	－	平成2年度	同上	平成28年度学生募集停止
水産学部									
水産学科	4	140	－	550	学士 （水産学）	1.03	昭和50年度	鹿児島市下荒田四丁目50番20号	平成27年度入学定員増(10人)
水産教員養成課程	4	－	－	－	学士 （水産学）	－	昭和29年度	同上	平成27年度学生募集停止
共同獣医学部									
獣医学科	6	30	－	180	学士 （獣医学）	1.05	平成24年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	

大学の名称	鹿児島大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
〔修士（博士前期）〕									
人文社会科学研究科									
法学専攻	2	5	－	10	修士（法学）	0.60	平成10年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
経済社会システム専攻	2	10	－	20	修士（経済学・社会学）	0.70	平成10年度	同上	
人間環境文化論専攻	2	5	－	10	修士（文学）	1.40	平成10年度	同上	
国際総合文化論専攻	2	8	－	16	修士（文学）	0.68	平成10年度	同上	
教育学研究科									
教育実践総合専攻	2	22	－	60	修士（教育学）	0.80	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	平成29年度入学定員減(16人)
医歯学総合研究科									
医科学専攻	2	10	－	20	修士（医科学）	0.90	平成16年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
保健学研究科									
保健学専攻	2	22	－	44	修士（保健学・看護学）	1.04	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
理工学研究科									
機械工学専攻	2	50	－	100	修士（理学・工学・学術）	1.13	平成10年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
電気電子工学専攻	2	45	－	90	修士（理学・工学・学術）	0.93	平成21年度	同上	
建築学専攻	2	25	－	50	修士（理学・工学・学術）	1.18	平成21年度	同上	
化学生命・化学工学専攻	2	42	－	84	修士（理学・工学・学術）	1.14	平成21年度	同上	
海洋土木工学専攻	2	18	－	36	修士（理学・工学・学術）	0.83	平成21年度	同上	
情報生体システム工学専攻	2	42	－	84	修士（理学・工学・学術）	1.01	平成21年度	同上	
数理情報科学専攻	2	14	－	28	修士（理学・工学・学術）	0.71	平成21年度	同上	
物理・宇宙専攻	2	15	－	30	修士（理学・工学・学術）	1.03	平成21年度	同上	
生命化学専攻	2	18	－	36	修士（理学・工学・学術）	1.05	平成21年度	同上	
地球環境科学専攻	2	17	－	34	修士（理学・工学・学術）	0.70	平成21年度	同上	
農学研究科									
生物生産学専攻	2	26	－	52	修士（農学）	1.13	平成6年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
生物資源化学専攻	2	21	－	42	修士（農学）	1.21	平成6年度	同上	
生物環境学専攻	2	22	－	44	修士（農学）	0.70	平成6年度	同上	

水産学研究科									
水産学専攻	2	32	－	64	修士（水産学）	1.03	昭和54年度	鹿児島市下荒田四丁目50番20号	
〔博士後期〕									
人文社会科学研究科									
地域政策科学専攻	3	6	－	18	博士（学術）	0.72	平成15年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
医歯学総合研究科									
健康科学専攻	4	19	－	76	博士（医学・歯学・学術）	0.86	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
先進治療科学専攻	4	31	－	124	博士（医学・歯学・学術）	1.17	平成15年度	同上	
保健学研究科									
保健学専攻	3	6	－	18	博士（保健学）	0.77	平成17年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
理工学研究科									
総合理工学専攻	3	24	－	48	博士（理学・工学・学術）	0.76	平成28年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
物質生産科学専攻	3	－	－	－	博士（理学・工学・学術）	－	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
システム情報科学専攻	3	－	－	－	博士（理学・工学・学術）	－	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
生命環境科学専攻	3	－	－	－	博士（理学・工学・学術）	－	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
連合農学研究科									
生物生産科学専攻	3	7	－	21	博士（農学・水産学・学術）	1.56	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
応用生命科学専攻	3	8	－	24	博士（農学・水産学・学術）	0.75	平成21年度	同上	
農水圏資源環境科学専攻	3	8	－	24	博士（農学・水産学・学術）	1.95	平成21年度	同上	
〔専門職学位課程〕									
教育学研究科									
学校教育実践高度化専攻	2	16	－	16	教職修士（専門職）	0.75	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	
臨床心理学研究科									
臨床心理学専攻	2	15	－	30	臨床心理修士（専門職）	1.03	平成19年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜法文学部　人文学科＞

（１） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	太田　一郎（５７）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 言語と文化 社会言語学 言語と文化演習 社会言語学演習１ 社会言語学演習２ 卒業論文						
専	教授	櫻井　芳生（５５）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 現代文化論 現代文化論演習１ 現代文化論演習２ 卒業論文						
専	教授	渡辺　芳郎（５５）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 考古学概説A 考古学研究A 考古学演習１ 考古学実習 地域フィールド実習 考古学演習２ 博物館実習 卒業論文						
専	教授	尾崎　孝宏（４７）	平成29年4月	人文社会総合論 人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 文化人類学概説 文化人類学演習１ 文化人類学実習 文化人類学演習２ 卒業論文 行政企業体験実習						
専	教授	乗尾　達哉（６１）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 日本史概説 日本歴史・文化研究A 日本歴史・文化演習A１ 古文書実習A 日本歴史・文化演習２ 卒業論文						

専	教授	高 津　　孝 （５９）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 中国文学概説A 中国文学概説B 中国文学研究 中国文学演習A1 中国文学演習B1 中国文学演習２ 卒業論文						
専	教授	丹 羽　謙 治 （５４）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 日本文学史概説A 日本古典文学研究B 日本古典文学演習A1 日本古典文学演習B1 日本古典文学リテラシー実習 日本古典文学演習2 卒業論文						
専	教授	内 山　　弘 （５３）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 日本語学概説A 日本語学概説B 日本語学研究Ａ 日本語学演習Ａ１ 日本語学演習Ｂ１ 言語文学実習 日本語学演習２ 卒業論文						
専	教授	大 田　由紀夫 （５１）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 東洋史概説B アジア歴史・文化研究B アジア歴史・文化演習Ｂ１ アジア歴史・文化演習Ｃ１ アジア歴史・文化演習２ 卒業論文						
専	教授	金 井　静 香 （４７）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 日本史概説 日本歴史・文化研究B 日本歴史・文化演習Ｂ１ 古文書実習B 日本歴史・文化演習２ 卒業論文						
専	教授	與倉アンドレー ア （５９）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ ドイツ語圏文化研究 ドイツ言語・文化演習１ ドイツ言語・文化演習２ 卒業論文						

専	教授	梁川 英俊 （５７）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 現代ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ｱﾒﾘｶ文化研究 現代ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ｱﾒﾘｶ文化演習１ フランス言語・文化演習 現代ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ｱﾒﾘｶ文化演習２ 卒業論文						
専	教授	細川 道久 （５７）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 西洋歴史・文化研究A 西洋歴史・文化演習A１ 西洋歴史・文化演習２ 卒業論文						
専	教授	竹内 勝徳 （５６）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ アメリカ文学概説A アメリカ文学概説B 英語圏比較文化論 アメリカ文学演習１ アメリカ文学演習２ 卒業論文						
専	教授	竹岡 健一 （５５）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 書籍文化研究 書籍文化演習１ ドイツ言語・文化演習１ 書籍文化演習２ 卒業論文						
専	教授	大和 高行 （５０）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ イギリス文学概説A イギリス文学概説B イギリス演劇研究 イギリス文学演習１ イギリス文学演習２ 卒業論文						
専	教授	柴田 健志 （５０）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 倫理学概説 哲学研究A 哲学演習A１ 哲学演習２ 卒業論文						
専	教授	藤内 哲也 （４６）	平成29年4月	人文社会総合論 人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 西洋史概説 西洋歴史・文化研究B 西洋歴史・文化演習B１ 西洋歴史・文化演習２ 卒業論文						

専	教授	スティーブン・コーダ（４６）	平成29年4月	人文社会総合論 人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 英語ライティング 英語オーラル 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーション演習 卒業論文						
専	教授	富原　一哉（５２）	平成29年4月	人文社会総合論 人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅰ 心理学コース基礎Ⅱ 心理統計法 比較心理学 心理学実験実習 比較心理学演習 卒業論文						
専	教授	安部　幸志（４２）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅱ 生涯発達心理学 発達臨床心理学 生涯発達心理学演習 心理アセスメント実習 コミュニティ心理支援実習 卒業論文 地域心理支援論						
専	教授	未定	平成29年10月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅱ 心理査定学 心理査定学演習 心理アセスメント実習 心理療法演習 コミュニティ心理支援実習 卒業論文 地域心理支援論						「人文科学基礎Ⅰ」は他に担当教員がいるため、支障はない。
専	准教授	宮下　正昭（６０）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 報道論 報道論演習１ 報道論演習２ 卒業論文 マスコミ論 マスコミ論演習						
専	准教授	太田　純貴（３７）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 芸術文化史概説 ポピュラーカルチャー論 芸術文化論演習 ポピュラーカルチャー論演習１ ポピュラーカルチャー論演習２ 卒業論文						

専	准教授	中 路 武 士 （３５）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ メディア史概説 表象文化論 メディア論演習 表象文化論演習１ 表象文化論演習２ 卒業論文						
専	准教授	吉 田 明 弘 （３８）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 自然地理学概説 地理学講義A 地誌学講義 地理学演習B１ 地理学実験 地理学実習 地理学演習２ 卒業論文						
専	准教授	小 林 善 仁 （３８）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 人文地理学概説 地誌学概説 地理学講義B 地理学演習A１ 地理学実験 地理学実習 地理学演習２ 卒業論文						
専	准教授	石 田 智 子 （３５）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 考古学概説B 考古学研究B 考古学演習１ 考古学実習 考古学演習２ 卒業論文						
専	准教授	兼 城 糸 絵 （３５）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 文化人類学研究 文化人類学演習１ 文化人類学実習 文化人類学演習２ 卒業論文						
専	准教授	中 筋 健 吉 （５５）	平成29年4月	中国言語文化研究A 中国言語文化研究B 中国言語文化演習A１ 中国言語文化演習B１ 中国言語文化演習2						

専	准教授	三 木 夏 華 （４３）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ アジア言語研究A アジア言語研究B アジア言語演習A１ アジア言語演習B１ 言語文学実習 アジア言語演習2 卒業論文						
専	准教授	福 永 善 隆 （３５）	平成29年4月	人文社会総合論 人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 東洋史概説A アジア歴史・文化研究A アジア歴史・文化演習A１ アジア歴史・文化演習C１ アジア歴史・文化演習２ 卒業論文						
専	准教授	多 田 蔵 人 （３３）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 日本文学史概説B 日本近現代文学研究A 日本近現代文学研究B 日本近現代文学演習A1 日本近現代文学演習B1 言語文学実習 日本近現代文学演習2 卒業論文						
専	准教授	末 松 信 子 （４４）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 英語学概説A 英語学概説B 英語学研究 英語学演習１ 英語学演習２ 卒業論文						
専	准教授	近 藤 和 敬 （３７）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 哲学概説 哲学研究B 哲学演習B１ 哲学演習２ 卒業論文						
専	准教授	鵜 戸 聡 （３５）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 言語思想史概説 多言語文化論演習１ フランス言語・文化演習 多言語文化論演習２ 卒業論文 海外異文化体験実習						

専	准教授	中 島 祥 子 （５１）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 多元地域文化コース基礎Ⅰ 多元地域文化コース基礎Ⅱ 多文化交流論 多文化交流論演習１ 多文化交流論演習２ 卒業論文						
専	准教授	横 山 春 彦 （５２）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅱ 心理学研究法 認知心理学 学習心理学 心理学実験実習 認知心理学演習 卒業論文						
専	准教授	飯 田 昌 子 （４４）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅱ 臨床心理学 心理アセスメント実習 臨床心理学演習 コミュニティ心理支援実習 卒業論文 地域心理支援論						
専	准教授	大 薗 博 記 （３６）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅱ 心理学概論 社会心理学 多変量データ解析演習 心理学実験実習 社会心理学演習 産業心理支援実習 卒業論文						
専	准教授	山 﨑 真理子 （３５）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅱ 消費者心理学 説得・交渉心理学 消費者心理学演習 多変量データ解析演習 心理学実験実習 産業心理支援実習 卒業論文						
専	講師	榊 原 良 太 （２９）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅱ 産業・組織心理学 産業・組織心理学演習 多変量データ解析演習 心理アセスメント実習 産業心理支援実習 卒業論文						
専	講師	菅 野 康 太 （３３）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅰ 心理学コース基礎Ⅱ 神経科学 神経科学演習 心理学実験実習 卒業論文						

専	講師	平 田 祐太朗 （３２）	平成29年4月	人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ 心理学コース基礎Ⅱ コミュニティ援助論 コミュニティ援助論演習 心理アセスメント実習 コミュニティ心理支援実習 卒業論文 地域心理支援論						

（注）・　申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２９年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ａ）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ｂ）
20	19	3	0	42	21	19	3	0	43	20	19	3	0	42
(21)	(19)	（３）	(0)	(43)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（Ａ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｂ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２９年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				

合計（A）			後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計（C）			後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（A）＋（C）			後任補充状況の集計（B）＋（D）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （29年4月）	該当なし			

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜法文学部　人文学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	変更なし

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

法文学部において常設のFD委員会を設置している（鹿児島大学法文学部等委員会規則（抜粋）を添付）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

定期的に委員会を開催し、教員の資質の維持向上に係る種々の取り組みを実施している。

ｃ　委員会の審議事項等

教育内容・方法及び改善に関する事項

②　実施状況

ａ　実施内容

・　教員相互の授業参観・授業公開
・　授業方法に関する講演会
・　学生による授業評価アンケート
・　ティーチング・アシスタントに対するアンケート
・　新しい教育方法や取り組み関する調査・研究

ｂ　実施方法

できるだけ多くの教員が参加できる時期や時間を設定して実施している。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度中にFD講演会、授業評価アンケート等を実施予定である。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新たな教育方法等の導入や授業参観、授業評価アンケートのより効果的な実施方法等について、FD委員会を中心に検討している。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

各学期末に学生による授業評価アンケートを実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

アンケート結果を集計・分析し、教員に配布している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、当初の計画に沿って実施しており、一部の科目については前倒しで開講する。

募集定員を大きく超える受験者を得ており、新しい法文学部の理念や教育プログラムが鹿児島県を中心とする受験生や高等学校、地域社会に受け入れられているものと考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定（平成３１年度）

b 公表方法

・年度計画進捗管理システム及び研究者情報管理システムを活用し年度毎のデータを収集したうえで，３年ごとに自己評価報告書を作成する。

③ 認証評価を受ける計画

・平成３３年度に機関別評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） （平成 ２９ 年 ９ 月 １ 日）

○鹿児島大学法文学部等委員会規則

平成16年４月１日
法 規 則 第 ５ 号

（ＦＤ委員会）
第16条　組織運営規則第17条第３項第７号のＦＤ委員会は、次の各項による。
２　ＦＤ委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
(1) 全学ＦＤ委員会委員
(2) 各学科から選出された委員　各２名
(3) 法学専攻から選出された委員　１名
(4) 経済社会システム専攻から選出された委員　１名
(5) 人文系専攻から選出された委員　１名
(6) 地域政策科学専攻から選出された委員　１名
３　ＦＤ委員会は、次に掲げる事項を審議する。
(1) 教育内容・方法及び改善に関する事項
(2) その他ＦＤ委員会が必要と認める事項
４　ＦＤ委員会に委員長を置き、委員の互選による。
５　第２項第２号、第３号、第４号、第５号及び第６号の委員の任期は、２年とし再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。